

第3期びんご圏域ビジョン
びんご未来ワークショップ報告書

2024年（令和6年）10月

目 次

| | | |
|-------|-----------------------|----|
| 第 1 章 | びんご未来ワークショップ開催概要..... | 1 |
| 1.1 | 背景と目的..... | 1 |
| 1.2 | 実施方法..... | 2 |
| 1.3 | 参加者の募集..... | 5 |
| 1.4 | 参加状況..... | 6 |
| 第 2 章 | 圏域住民の意見..... | 11 |
| 2.1 | 備後圏域の将来予測される課題..... | 11 |
| 2.2 | 取組のアイデア、めざす未来像..... | 31 |
| 2.3 | まとめ..... | 52 |
| 第 3 章 | 参加者アンケートの結果..... | 53 |
| 3.1 | 回答者属性..... | 53 |
| 3.2 | 回答結果..... | 56 |
| 第 4 章 | 当日の様子..... | 63 |

第1章 びんご未来ワークショップ開催概要

1.1 背景と目的

備後圏域では、2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）を計画期間とする「第3期びんご圏域ビジョン」の策定を行っています。

今後、少子高齢化を伴う人口減少やインフラの老朽化等が深刻化するなど、資源が制約される中で持続可能な行政サービスを提供していくためには、様々な主体がどのような未来を実現したいのか等を議論し、ビジョンを共有していくことが重要です。

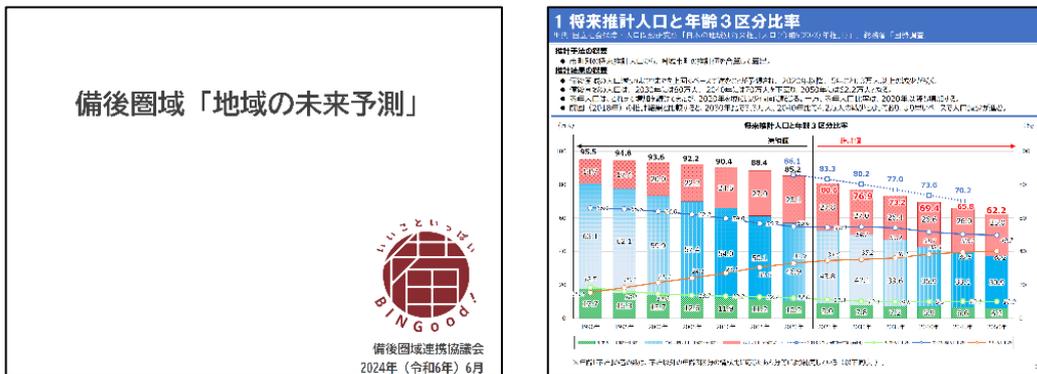
このため、第3期びんご圏域ビジョンの策定に向けて、本圏域では「備後圏域 地域の未来予測」を作成するとともに、圏域住民と備後圏域のめざす未来像などの議論を行う「びんご未来ワークショップ」を開催しました。

○参考

【備後圏域 地域の未来予測】

「地域の未来予測」とは、人口や施設・インフラのほか、子育て・教育、医療・介護などの分野において、地域が直面する変化や課題の長期的な見通しを客観的データに基づいて整理するものです。各分野の推計は、総務省の「地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ報告書」で示されている方法に基づいて行いました。

図表 1-1 地域の未来予測

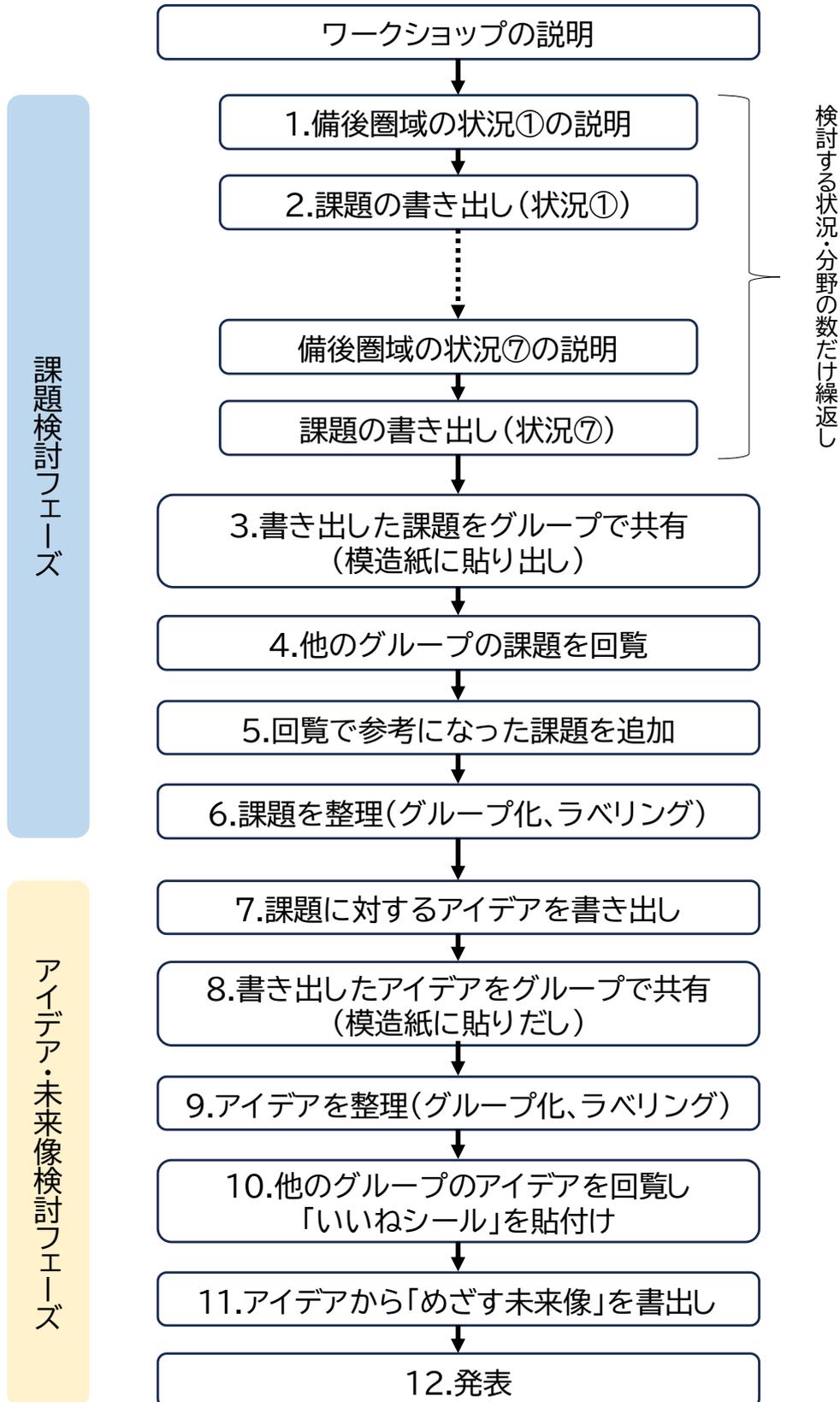


1.2 実施方法

(1) ワークショップの流れ

「びんご未来ワークショップ」の全体の流れは以下のとおりです。

図表 1-2 ワークショップの全体フロー



図表 1-3 ワークショップのタイムスケジュール(福山市会場)

| 時刻 | 時間 | (時間) | 内容 | 詳細など |
|-------|------|------|---------------------------------------|--|
| 14:00 | 0:02 | | 開会 | |
| 14:02 | 0:03 | | 福山市長あいさつ | |
| 14:05 | 0:02 | | 神石高原町長あいさつ | |
| 14:07 | 0:03 | | ワークショップの流れの説明 | |
| 14:10 | 0:18 | | 備後圏域の説明(これまでの取組等) アイズブレイク | 備後の地域性を混ぜ込んだアイズブレイク (おすすめスポット・自分と備後のつながり 等) |
| 14:28 | 0:01 | | 「地域の未来予測」についての説明 | 作成経緯・趣旨 など |
| 14:29 | 0:40 | 0:07 | 個人ワーク①-1 将来推計人口 | 説明4分、個人ワーク3分 |
| 14:36 | | 0:08 | 個人ワーク①-2 産業、農林水産業、観光 | 説明4分、個人ワーク4分 |
| 14:44 | | 0:04 | 個人ワーク①-3 高度医療 | 説明2分、個人ワーク2分 |
| 14:48 | | 0:06 | 個人ワーク①-4 都市基盤、高等教育 | 説明3分、個人ワーク3分 |
| 14:54 | | 0:06 | 個人ワーク①-5 医療・福祉・介護サービス、健康づくり、出産・子育て | 説明3分、個人ワーク3分 |
| 15:00 | | 0:05 | 個人ワーク①-6 安心・安全、環境、エネルギー | 説明3分、個人ワーク2分 |
| 15:05 | | 0:04 | 個人ワーク①-7 地域振興、歴史・文化・教育・スポーツ | 説明2分、個人ワーク2分 |
| 15:09 | 0:05 | | 休憩(グループワーク準備) | |
| 15:14 | 0:02 | | グループワークについての説明 | |
| 15:16 | 0:27 | 0:15 | グループワーク①-1 備後圏域の課題について | 個人ワークの付箋をグループ模造紙に展開 他の参加者と意見交換しながら、課題を追加 |
| 15:31 | | 0:05 | グループワーク①-2 他グループ回覧(ジグソー方式) | 決められた1つのグループに個人で移動 |
| 15:36 | | 0:07 | グループワーク①-3 課題の充実・完成(他グループ課題の追加) | 模造紙を枠囲い・グルーピング |
| 15:43 | 0:36 | 0:10 | 個人ワーク② 課題解決に向けたキーワード | 上記の課題を踏まえて、対応するキーワードを書き出し |
| 15:53 | | 0:16 | グループワーク② 課題解決に向けたキーワード | キーワードを書き出し・グルーピング |
| 16:09 | | 0:10 | いいねシール貼付(他グループ回覧) | シールは1人につき5枚 |
| 16:19 | 0:17 | 0:17 | グループワーク③ キーワードから「めざす未来像」の書き出し・発表準備 | いいねシールが多いキーワード等を参考に、「めざす未来像」を書き出し |
| 16:36 | 0:16 | 0:02 | A~Hグループ発表 | 「●●な備後圏域」という、「めざす未来像」を発表 (各グループ模造紙全体に対して1つずつ) |
| 16:52 | 0:01 | | 倉阪教授 講評 | |
| 16:53 | 0:02 | | 福山市職員あいさつ | |
| 16:55 | 0:05 | | 記念撮影 | |
| 17:00 | 1:00 | | 閉会・解散・片付開始 | |
| 18:00 | | | 完全撤収 | |

ファシリテーター：千葉大学大学院社会科学研究室 倉阪秀史教授

(「地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ」委員)

(2) 検討分野について

ワークショップでは、「人口」と「第2期びんご圏域ビジョンの15分野」について、将来予測される課題などを議論しました。

図表 1-4 ワークショップの検討分野



1.3 参加者の募集

圏域市町から多くの住民が参加できるよう、福山市、三原市、井原市の3会場で行いました。参加者の募集にあたっては、各市町の広報紙やHP、SNSなどの活用のほか、高校や大学など関係団体への周知を行いました。また、ビジョン策定に係る住民アンケートに募集チラシを同封するなど、多くの圏域住民へ呼びかけを行いました。

図表 1-5 参加者募集等のスケジュール

| 6月 | | | | 7月 | | | | |
|--------------|--------|-----|--------------|-----|---------------------|-----|---------------------|---------------------|
| | 26日 | ・・・ | 28日 | ・・・ | 15日 | ・・・ | 20日 | 21日 |
| 市町広報による案内 | 募集締め切り | | 参加決定通知・案内状送付 | | ワークショップ① (福山市会場) | | ワークショップ② (三原市会場) | ワークショップ③ (井原市会場) |
| 関係団体への案内 | | | | | | | | |
| アンケート回答者への案内 | | | | | | | | |

図表 1-6 ワークショップ募集チラシ

今年7月開催 びんご未来ワークショップ

自分たちの街の未来を 一緒に考えませんか？

地方から大都市圏へ若者が流出し、人口減少が進む中、わたしたちがいつまでも住み続けたいと思える街にするにはどうしたらいいのか？ これからの備後圏域はどのような未来をめざすべきなのか？ 住民の皆さまの視点で話し合い、検討していただくことを目的とした「ワークショップ」を開催します。

**応募締切
6月26日
(水) 必着**

どんなことをするの？

| STEP1 | STEP2 | STEP3 |
|---------------------------|---|---|
| 備後圏域の現状とこれまでの取組について説明します。 | 備後圏域「地域の未来予測」※を踏まえ、将来の課題について議論していただきます。 | 将来の課題を踏まえて、備後圏域の「めざす未来像」をグループでまとめていただきます。 |

※「地域の未来予測」：地域が直面する変化や課題についての長期的な見直しを、客観的なデータに基づいて整理したもの

備後圏域とは？
三原市・尾道市・福山市・府中市・竹原市・世羅町・神石高原町・笠岡市・井原市、この7市2町からなるのが「備後圏域」です。

この地域の強みや特性を生かして、デムやぶどう(ワイン)など、共通する地域資源の魅力向上や、ものづくり技術を生かした産業振興、子育て・医療分野などの連携強化に取り組んでいます。

開催概要

【日時・場所】
どの会場にもご参加いただけます。
①7月15日(月・祝)14:00~17:00
場所:福山市役所
②7月20日(土) 14:00~17:00
場所:三原市役所
③7月21日(日) 14:00~17:00
場所:井原市 地域産業振興センター
※無断で交通費などの支給はありません。

【応募】 応募×切:6月26日(水) 必着
◆WEB(インターネット)
QRコードから応募フォームにアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。
◆郵送
下記に必要事項をご記入の上、別途ご記入いただいたアンケート調査票とともに、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。
◆持参
下記に必要事項をご記入の上、各市町の窓口にお持ちください。

【対象】 (三原市、尾道市、福山市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市)
備後圏域に在住の方
【問い合わせ先】
福山市 企画財政部 企画政策部 備後圏域連携推進室
TEL:084-928-1295(直通)
E-mail:bingo@city.fukuyama.hiroshima.jp

詳しくはHPでもご確認ください。 **びんご未来ワークショップ**

切り取り線

<びんご未来ワークショップへの応募用紙>

注1) ※印の項目は、必ずご記入ください。未記入の場合は応募受付をしかねますので、ご了承ください。
注2) ご記入いただいた個人情報、参加者の募集・住民ワークショップの運営以外の目的には一切使用いたしません。

| | | | |
|---|---|------------------------------------|----------------------------|
| ふりがな※ | 年齢※ | 性別※ | 1. 男性 2. 女性 3. 回答しない |
| 名前※ | | 才 | |
| 保護者氏名・連絡先 (保護者のみ記入) | 電話番号 | ※高校生以下の方は必ず保護者の了承を得てから申し込みをしてください。 | |
| 住所※ | 〒 | | |
| 電話番号※ (○で願ってください) | 【連絡がとれる番号をご記入ください】 | 【メールアドレス アドレス | 【資料などを送らせていただく場合があります】 |
| 職業※ (○で願ってください) | 1. 高校生 2. 大学生 3. 会社員(公務員、自営業、パートなど含む) 4. その他 | | |
| 応募理由※ | | | |
| 配慮が 必要な事項 | 【「年長が参加希望」など、参加の機会に必要事項があればご記入ください。欄外にご記入いただけます。】 | | |
| 関心のある 行政分野※ (○をご記入ください) | 経済 | 都市 | 住民 |
| 参加を希望する 会場※ (複数希望の場合は ○をご記入ください) | 第1希望 | 第2希望 | 第3希望 |

【選考・結果のお知らせ】
・ご応募いただいた方が多数の場合、応募者全体の男女比や年齢構成、地域構成などのバランスを総合的に勘案して決定させていただきますので、あらかじめご了承ください。定員：6名(各会場 各2名程度)
・ご応募いただいた方を基に、希望者から順番にご招待メールを送らせていただきます。

【その他の注意事項】
・ワークショップの参加に伴う報酬や交通費などの支給はありません。
・ご招待いただいたの専用紙は、送付いたしません。
・当日は報道機関などによる撮影が入る可能性があります。各種メディアに公開される可能性がある点について、ご了承ください。

1.4 参加状況

計 92 名が参加しました。男女別、年齢別、居住市町別、職種別の参加者数は以下のとおりです。

(1) 全体

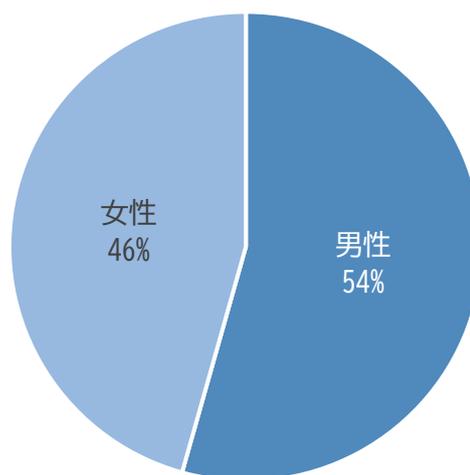
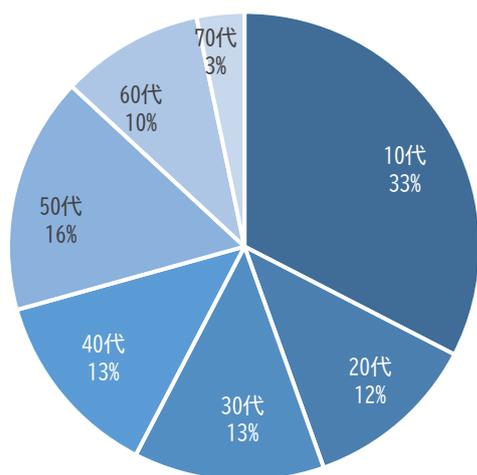
(ア) 男女年齢階層別

男女年齢偏らず、幅広い年齢層が参加しました。特に、備後圏域の将来を担う 10 代の参加が多い結果となっています。

図表 1-7 参加状況（男女年齢階層別）

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 30 | 11 | 12 | 12 | 15 | 9 | 3 | 92 |
| 男性数 | 14 | 4 | 9 | 7 | 8 | 6 | 2 | 50 |
| 女性数 | 16 | 7 | 3 | 5 | 7 | 3 | 1 | 42 |

※応募数は 103 名（当日は様々な都合で不参加）

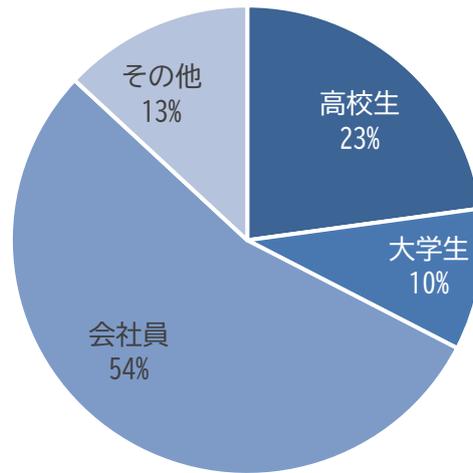


(イ) 男女職種別

会社員が最も多く、次いで高校生の参加者が多くなっています。

図表 1-8 参加状況（男女職種別）

| | 高校生 | 大学生 | 会社員 | その他 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 21 | 9 | 50 | 12 | 92 |
| 男性数 | 9 | 3 | 30 | 8 | 50 |
| 女性数 | 12 | 6 | 20 | 4 | 42 |

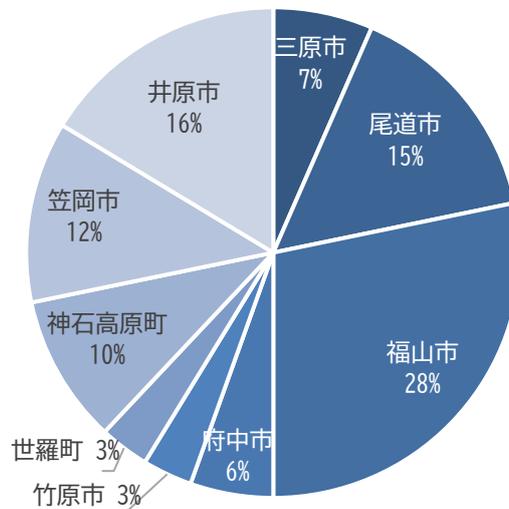


(ウ) 市町別（居住地）

福山市が最も多くなっていますが、圏域内全ての市町の住民が参加しています。

図表 1-9 参加状況（市町別）

| | 三原市 | 尾道市 | 福山市 | 府中市 | 竹原市 | 世羅町 | 神石高原町 | 笠岡市 | 井原市 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 全体 | 6 | 14 | 26 | 5 | 3 | 3 | 9 | 11 | 15 |



(2) 会場別

(ア) 福山市会場

| 会場名 | 場所 | 開催日時 | 参加者数 |
|-------|-------|---------------------------|------|
| 福山市会場 | 福山市役所 | 7月15日(月・祝) 14:00~17:00 | 40人 |

参加者内訳

【年齢階層】

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 13 | 5 | 5 | 5 | 7 | 4 | 1 | 40 |
| 男性 | 6 | 2 | 2 | 2 | 4 | 3 | 0 | 19 |
| 女性 | 7 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 21 |

【職業】

| | 高校生 | 大学生 | 会社員 | その他 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 9 | 4 | 20 | 7 | 40 |
| 男性 | 5 | 0 | 11 | 3 | 19 |
| 女性 | 4 | 4 | 9 | 4 | 21 |

【市町】

| 三原市 | 尾道市 | 福山市 | 府中市 | 竹原市 | 世羅町 | 神石高原町 | 笠岡市 | 井原市 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|----|
| 0 | 6 | 19 | 5 | 0 | 0 | 7 | 2 | 1 | 40 |



(イ) 三原市会場

| 会場名 | 場所 | 開催日時 | 参加者数 |
|-------|-------|-------------------------|------|
| 三原市会場 | 三原市役所 | 7月20日(土) 14:00~17:00 | 25人 |

参加者内訳

【年齢階層】

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 5 | 2 | 4 | 6 | 5 | 3 | 0 | 25 |
| 男性 | 1 | 1 | 4 | 4 | 3 | 1 | 0 | 14 |
| 女性 | 4 | 1 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 11 |

【職業】

| | 高校生 | 大学生 | 会社員 | その他 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 5 | 0 | 19 | 1 | 25 |
| 男性 | 1 | 0 | 12 | 1 | 14 |
| 女性 | 4 | 0 | 7 | 0 | 11 |

【市町】

| 三原市 | 尾道市 | 福山市 | 府中市 | 竹原市 | 世羅町 | 神石高原町 | 笠岡市 | 井原市 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|----|
| 6 | 8 | 4 | 0 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 25 |



(ウ) 井原市会場

| 会場名 | 場所 | 開催日時 | 参加者数 |
|-------|---------------|-------------------------|------|
| 井原市会場 | 井原市地場産業振興センター | 7月21日(土) 14:00~17:00 | 27人 |

参加者内訳

【年齢階層】

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 12 | 4 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 | 27 |
| 男性 | 7 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 17 |
| 女性 | 5 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 10 |

【職業】

| | 高校生 | 大学生 | 会社員 | その他 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 全体 | 7 | 5 | 11 | 4 | 27 |
| 男性 | 3 | 3 | 7 | 4 | 17 |
| 女性 | 4 | 2 | 4 | 0 | 10 |

【市町】

| 三原市 | 尾道市 | 福山市 | 府中市 | 竹原市 | 世羅町 | 神石高原町 | 笠岡市 | 井原市 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|----|
| 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | 14 | 27 |



第2章 圏域住民の意見

2.1 備後圏域の将来予測される課題

各グループにおいて、分野ごとに将来予測される課題について意見交換しました。

(1) 分野ごとの主な課題

| 分野 | 課題 |
|---------------|--|
| 人口 | <ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代減少、後継者不足 ● 年金など若者の負担が大きくなる |
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 企業の人材不足に加えて、後継者も不足、会社もつぶれる ● 進学で転出する学生が増え、圏域外での就職が増加 ● 企業の倒産増加 ● 地元で働く場所が少なくなり、安定した収入を得られなくなる、人材の流出 |
| 農林水産業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 農業の担い手がいなくなる、農林水産業の就業者の高齢化 ● 森と里山の境界がなくなり獣害の出没が増える |
| 観光 | <ul style="list-style-type: none"> ● 観光客が減ると備後圏域の良さを知ってもらう機会が減る ● 観光客が減り続けると町の活気がなくなる |
| 高度医療 | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療機関の減少 ● 必要な医療サービスが受けられなくなる、圏域外に行かざるを得ない |
| 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の衰退、高齢者の移動がますます困難 ● 若者が過ごす公共施設よりも介護施設が増え、若者の場所がなくなる |
| 高等教育 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地元で学びたい分野がなく、夢を諦めざるを得ない ● 学生の希望に合う条件の就職先が少ない、圏域で大学に通っても外に出る学生が多くなる |
| 医療・福祉・介護サービス | <ul style="list-style-type: none"> ● 介護負担の増加（介護従事者の不足・老々介護の増加） ● 産婦人科の減少により、子どもを産もうと思う人が減少し、子どもの数もさらに減少する |
| 健康づくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 人が減るとコミュニティが希薄になり、寂しい老人が増える ● 認知症の予防と支援 |
| 出産・子育て | <ul style="list-style-type: none"> ● 出産できる場所がなくなる ● 子育て支援に細かなケアができなくなる ● 子どもに対するサービスが減少する |
| 安心・安全 | <ul style="list-style-type: none"> ● 防災、マンパワーの減少により防災・災害時の対応が困難になる ● 避難場所の老朽化 |
| 環境・エネルギー | <ul style="list-style-type: none"> ● 地球の温暖化 ● 水道設備の維持が出来なくなる。料金の上昇、水質悪化が懸念される |
| 行政サービス | <ul style="list-style-type: none"> ● インフラの整備が進まない ● 公共施設の利用者の減少、維持・管理も困難になる |
| 地域振興 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通が減少し、高齢者の移動がますます困難になる ● 地域に活気がなくなる |
| 歴史・文化・教育・スポーツ | <ul style="list-style-type: none"> ● 文化継承が難しい、後継者や担い手の不足 ● 観光地や歴史的な建築物の維持が出来ない |

(2) テキストマイニング

ワークショップで出された備後圏域の将来に対する様々な課題について、定型的に把握をするためにテキストマイニング分析の一つである共起ネットワーク分析を行いました。

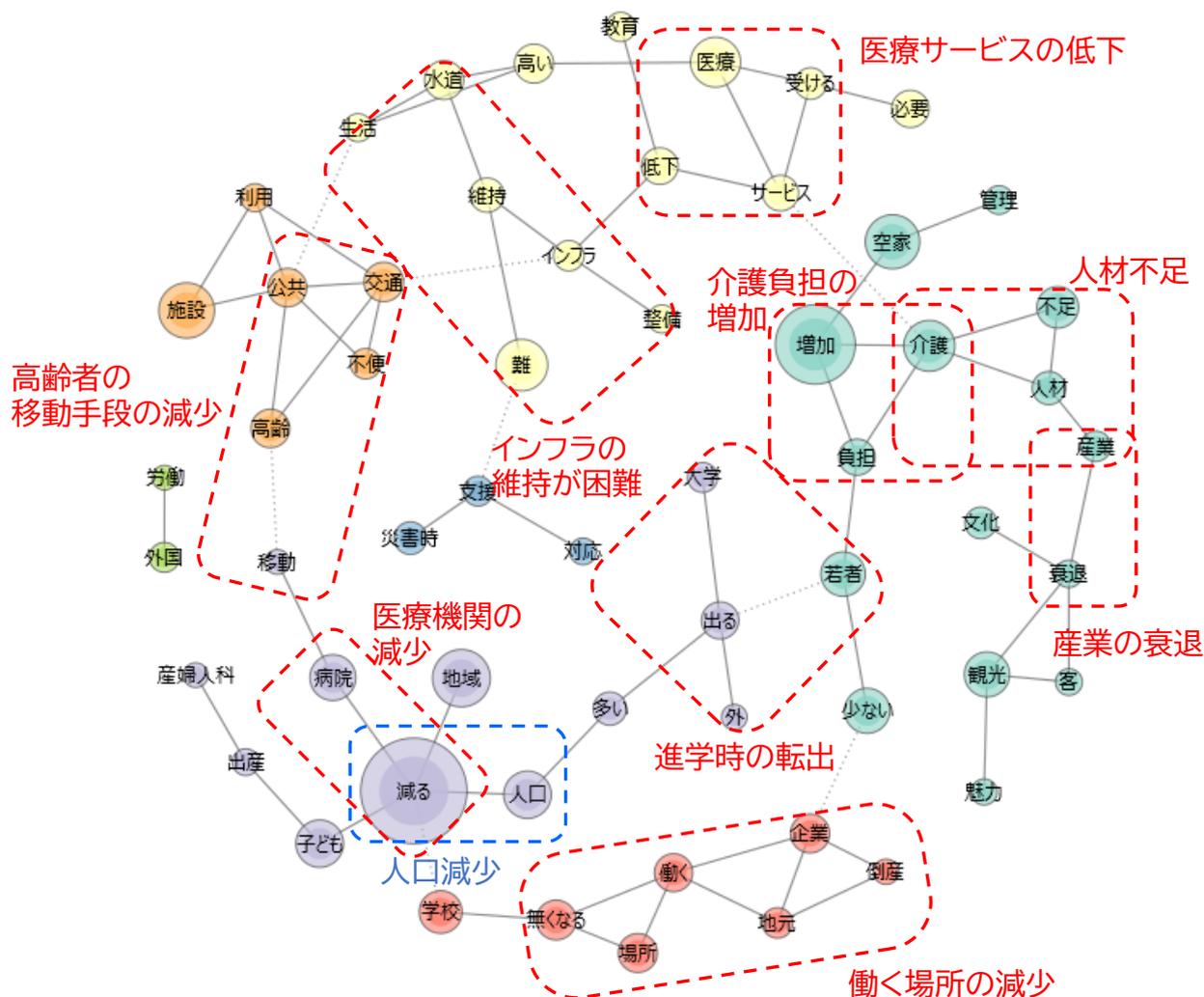
「人材不足」や「医療機関の減少」、「介護負担の増加」などに関する意見が多く出されています。

○参考

【共起ネットワーク分析】

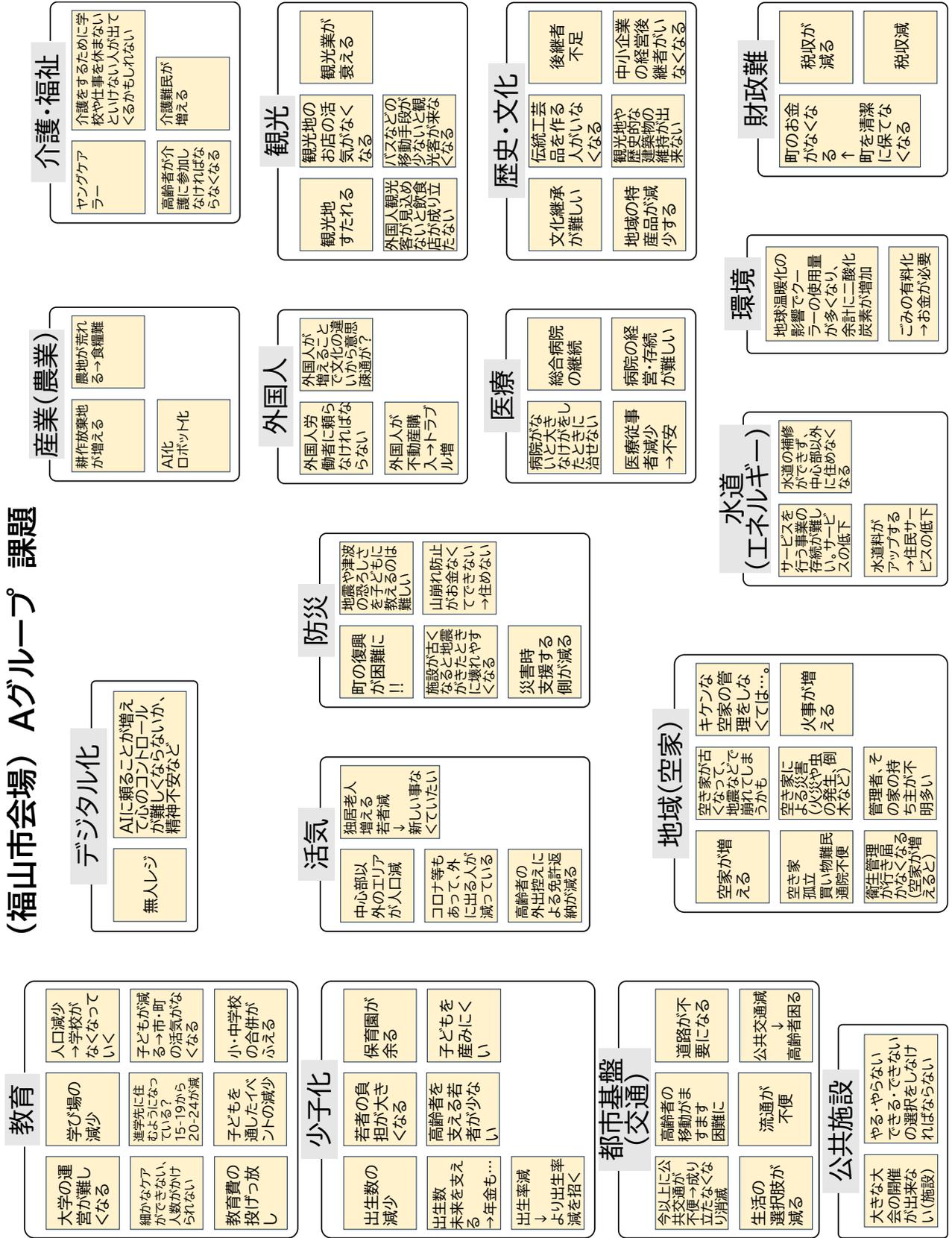
言葉と言葉のつながりをネットワークで可視化したもので、言葉の出現量を○の大きさに表現しています。出現回数が多い言葉ほど大きく、少ない言葉ほど小さくなっています。どのようなこと（言葉・キーワード）が多く意見されているのかを俯瞰することができます。

図表 2-1 課題に関する意見の共起ネットワーク分析



(3) 各会場・各グループの意見シート
 (ア) 福山市会場

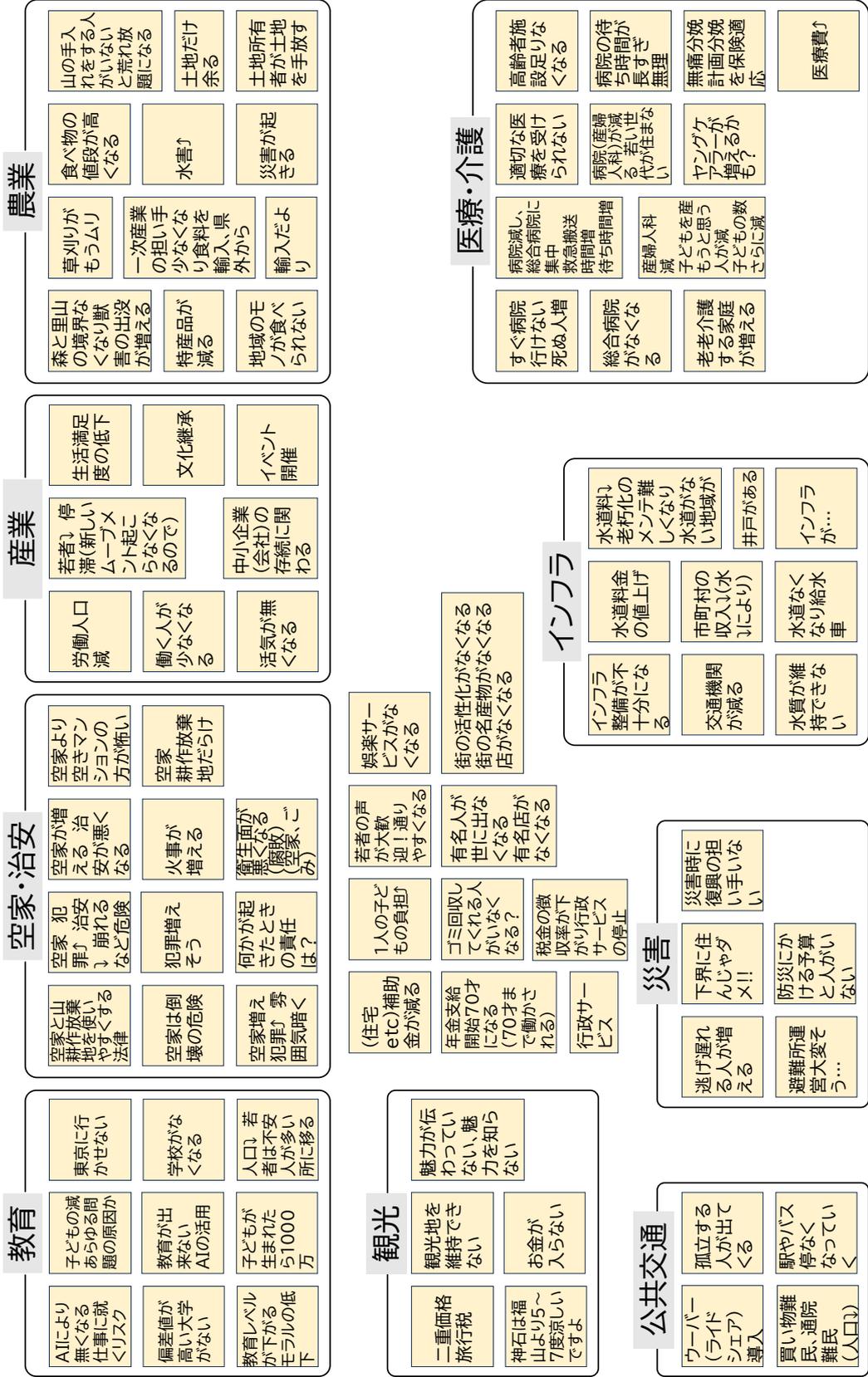
(福山市会場) Aグループ 課題



（福山市会場）Cグループ 課題

| | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|--|---|---|--|
| <p>空家</p> <ul style="list-style-type: none"> キケンな空家の管理をしないといけない 空家を活用する仕事が増えそう 耕地、土地価格が下がる 空家の管理がされなくなると、災害時に倒壊の恐れ、治安悪化？ 放火が増える 廃屋が増える 老朽化で危険な建物、場所が増える | <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校が増える 学校がなくなる 教育が平等に受けられなくなる バイアス問題視することがある 問題視する問題の人口が減ることは悪？ 教育費の投げっ放し 学校が減り子どもの教育の場が減ってしまう 大学等の経営が悪化し減少し学費が減少する | <p>インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミが減ることでの清潔な町になる？ ゴミの再利用の仕方ができるかも...？ インフラの問題(他工、海外へ移住) 「ゴミ」ってなあに？ インフラ整備 水道・ごみ金額が上がる 公共施設がなくなる | <p>活カ</p> <ul style="list-style-type: none"> まちがすたれたら衰退していく 活気がなくなる 自殺者が増える可能性がある 町などが消えてしまう可能性がある？ 日本の良さがなくなる シビックプライドがなくなる 地域が潤われない 活力がなくなる 人間関係希薄化、思いやりがなくなる 地域の魅力がなくなる | <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 癌による死亡率が増す 十分な医療を受けられない 死を受け入れられない世界 若者が高齢者を支えきれない 治療ができず亡くなる人が増える 医師・看護師が不足しサポートが必要になる人が増える 負担が増え医師になりたい人が減り、医師の減少を招く 医療費が増える 病院に行けない 介護の質が悪化する 医療費が高くなる | <p>人口減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域が活性化しない 若者減る 若者が減り街の活気がなくなる 若い世代が減ってしまう 外に出て働く人が若者が増える 若者の過剰施設がなくなり別の都市に行ってしまう 都市に人が行ってしまう 備後に住みたいと思わなくなる 関係人口、定住人口減少 東京一極集中になる 人口減少にあつた町(つくり)とは？ 地域が活きたり街の活気がなくなる 若い世代が減ってしまう 外に出て働く人が若者が増える 若者の過剰施設がなくなり別の都市に行ってしまう | <p>歴史・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史や文化があまり知られていない 文化・芸術・歴史を継承できな ルーツが分からなくな(歴史) 文化・風俗の継承 | <p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを通したイベントが減ってしまう 安心して子育てできない 地域で若い女性、子どもが流れてしまう 備後圏域で子どもを産むことができなくなる | <p>経済</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療関係者が就職するときに良い収入の都市に行ってしまう 観光産業が成り立たなくなる 安定した収入を得られなくなる 経済が回りづらい 働かなくて良い世界 ※働くとは？ 産業が発展しない 働く場所がなくなる 宿泊不足、ここなう | <p>職業</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料品の物価が上がる 地産地消が進まない 農業をかつよくする 食物の輸入が促進される |
|---|---|--|---|--|--|--|---|---|--|

(福山市会場) Dグループ 課題



(福山市会場) Eグループ 課題

観光

観光客が減少し、収入が減る、産業衰退
 施設はあってもそれをみんな観光客に伝えることが必要

インフラ

必要サービスを受けにくい(受けたい)
 製造業のCO2削減のため
 空気のきれいな所へ移るといはいかに？
 水道料金(1人あたり)が増える
 ライフラインの維持(道路・水道etc)
 公共施設の負担の増大(税金)
 インフラを支える人が少なくなる
 公共交通便数減
 利用者が減り1日の電車の数が減っている

教育

子どもが減少すること、保育や教育に関する仕事も減る
 生徒数の減少で学校が無くなる
 子どもが大学も都会に出る人が多い
 若者が圏外に出てしまう
 ものづくりの生産能力の低下、企業の減少
 労働人口減少

産業

田畑が荒れて林や雑木林に
 農業者が減少し、食糧の健康寿命の低下
 新鮮な野菜や魚が食べられない
 高齢者が減少し、労働力の不足

コミュニティ

若い人が地元に残りたくなくなる
 高齢者の為にフレアール、健康体操等して貰って欲しい
 子育てで困ったこと。町内会の役員とか出来ない頃にかはって貰えない人かいない人か
 人間関係が思いやりのない人達が多い
 高齢者が減少し、労働力の不足

空家

土地や家の所有者が分からなくなり、行政も手を出せなくなる
 空家は増える
 空家は壊すのもお金がかかる

介護

老老介護をしないといけないか？
 介護関係の買い物店がなくなるか？
 福祉人材の減少
 要介護者が増えるか？
 介護需要はなぜ福山市が+21.6%?

医療

病院に行けない
 必要なときに必要な手当に当たらない
 いざという時に対応してもらえない
 高齢者が減るのに医療の需要が減っている
 近くに病院がない
 産婦人科小児科

高齢者が減少し、労働力の不足
 高齢者が減少し、労働力の不足
 高齢者が減少し、労働力の不足
 高齢者が減少し、労働力の不足

(福山市会場) Fグループ 課題

健康づくり

人が減るとコミュニティが希薄になり、寂しい老人が増える

外へ出がけ(外出し)ない

歴史・文化教育・スポーツ

郷土料理が引き継がれない

神楽等の文化が途絶える

文化継承が難しい

祭りの担い手がなくなる

圏域マネジメント

公共施設の利用者が入ると管理も困難になる

医療や教育が受けられる地域が狭まる

ファストフアットのシヨン等低価格帯の商業施設を府中に作る

大きなホールなど用途が同じ施設は備後で1つなど数が絞られる

観光

観光地を管理する人がいない

備後での観光チームの

県外・海外の旅行客を増やす→もつとPRする

観光地を維持出来ない

農林水産

土地の所有者が土地を手放すようにならない

農林水産業は外国からの労働者が担うようにならない

農家1人当たりの耕作面積が増え、効率的にならない

産業

給与を上げる会社では選ばない

地域が廃れてます活性化する

地域がなくなる

労働力が確保はますます困難な国

「デニム」「作業服」連携

経済力のない地域、国になる

社会基盤が安定しなくなる

出産・子育て

「あそび」から「子どもだち」交流の機会を

出産控え、医療控え(受診)

子どもを安心して診てもらえる地域への移住up

親になる世代が地元に戻って来ない

子どもと同世代が激減すると、刺激が減少して養育に影響し学力が下がる

行政サービス

水道料金を引き上げる

1人の税金が増える

水道の補修が出来ない

水道や道路などの維持が出来るなくなる

生活に必要なサービスを担う人が減る

ゴミの回収減る。サービス行かない

公共施設の減少により、生活していく者が出ていく

ゴミ収集の日が減る→家にゴミを長く置いておくことになる

「水道」がなくなり給水車が対応する地域ができる

高度医療

医療情報の共有

個人開業医が経営難

医師の手が足りません

医師の后继者問題が深刻

産婦人科がない

医師の取り合いになる

総合病院がない

ネットでの受診が主になる

安心・安全

いざという時に対応してもらえない。難しい

働く人が減っていく

災害時に復興の担い手(力持ちの若者)が少ない

水害が増える

イノシシが増える

土手を越えて大水がやってきました

災害時に復興の担い手(力持ちの若者)が少ない

地域振興

雑草が放置される

犯罪者が潜伏する

新築と相続で1人5件くらい所有することになる

町が廃れる。犯罪が増える。見栄えが悪い

外国人所有者が増え、放置され納税されない

空家を綺麗にしても、農地として活用しない

人口が減ると若者は不安になり、人が多くなる

家族もどうして良いかわからない

地域の人が活用する会議室(大さなハコより、コミュニティの活用)

空家は危険もあり、個人も何もしない

町が汚く、空家は危険もあり、個人も何もしない

人口が減ると若者は不安になり、人が多くなる

家族もどうして良いかわからない

地域の人が活用する会議室(大さなハコより、コミュニティの活用)

空家は危険もあり、個人も何もしない

町が汚く、空家は危険もあり、個人も何もしない

高等教育

学校に通う人が減る

若者が減り新しいムーブメントが起ころなく停滞する

新しい知識が地域に浸透しにくい

大学→就職に繋がらないため、学業を止めて働く人減る

小学生 大学訪問

工業大学がない

都市基盤

公共交通機関の採算が取れなくなる

バス停なし、バスが通らない

自動運転になる

駅前人が少なくなった

公共交通が使いにくく、高齢者の生活不自由

生活圏が広くなり、移動が課題になる

車やバス停に行くことができない人が増える

ワーバー(タクシードライバー)が日本にも導入される

車がなければ生活出来ない！身動きとれない。子どもの負担増。

医療・福祉・介護

1人の子どもの負担が増える

共働きが増えます子育ても外注になりがち

医療費が高くなる

子どもの数減ること、関連する職業が成り立たなくなる

お医者さんで診察することになる

出生率が少ないと長期的に見ても目減り立ってくる

お見舞いに行くのに幹線に乗ることになる

高齢者を地元で看取ることが出来なくなる

子どもを育てる世代が選んで住む地域が必要

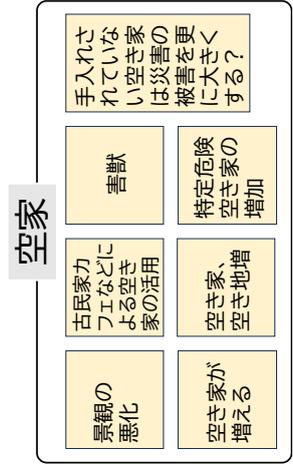
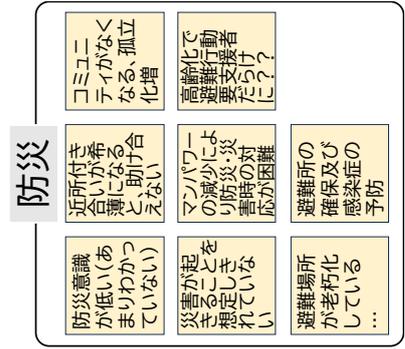
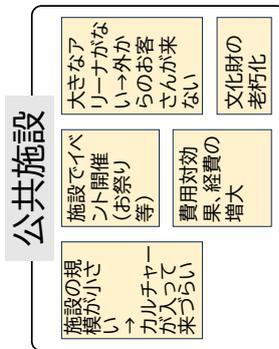
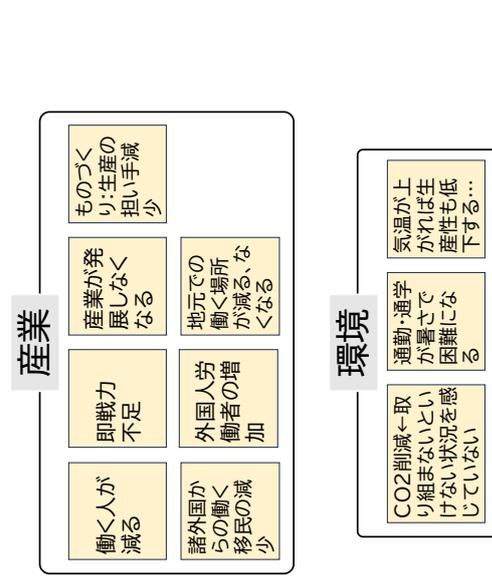
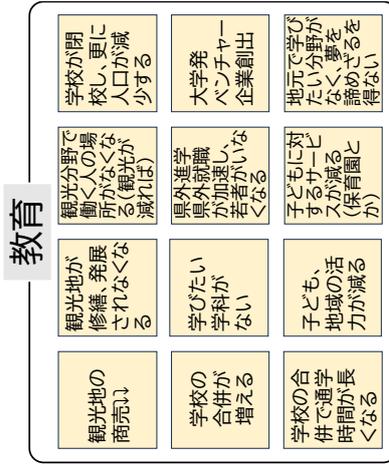
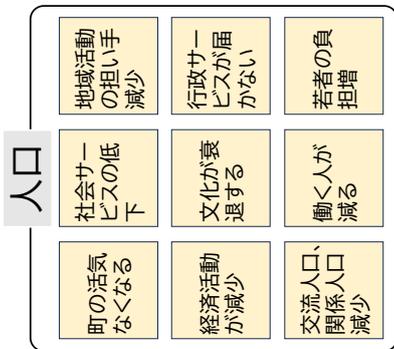
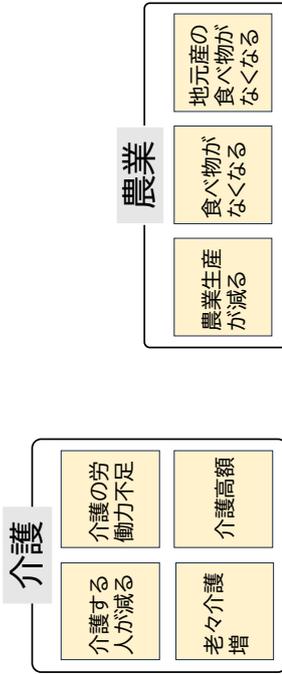
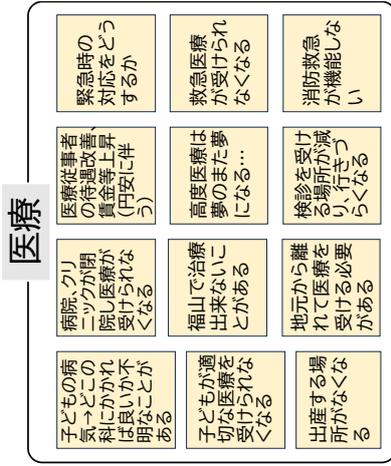
環境・エネルギー

使い捨ての生活を見直し、品をたくさん作ることをやめる

CO2削減に大きな建物を持つ時のゴミの発生を減らすこと

熱中症の人数が増える

(福山市会場) Hグループ 課題



(一) 三原市会場

(三原市会場) Aグループ 課題

働き手

| | | | | |
|---------------------|--------------------|------------|---------------------------|--------------|
| 働き手が 減少しなくな る | 働いてい ない人が いる | 働き手 の減少 | 働きたい 職業が就 業できな い | 外国の方 の就業層 |
| 働き手が 減少しなくな る | 働いてい ない人が いる | 働き手 の減少 | 働きたい 職業が就 業できな い | 外国の方 の就業層 |
| 働き手が 減少しなくな る | 働いてい ない人が いる | 働き手 の減少 | 働きたい 職業が就 業できな い | 外国の方 の就業層 |

観光

| | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 地域産業 の衰退 | 観光地と 働く人が 減る | 観光客が 減る | 観光客が 入ってこ ない |
| 観光地と 働く人が 減る | 観光客が 減る | 観光客が 入ってこ ない | 観光客が 入ってこ ない |
| 観光地と 働く人が 減る | 観光客が 減る | 観光客が 入ってこ ない | 観光客が 入ってこ ない |

交通

| | | | |
|----------------------|----------------------------|------------|----------------------|
| 交通イン フラのア ドレタス | 買い物に 行かない バス路線 廃止 | バス会社 減る | 高齢者 ドライバー が増える |
| 交通イン フラのア ドレタス | 買い物に 行かない バス路線 廃止 | バス会社 減る | 高齢者 ドライバー が増える |
| 交通イン フラのア ドレタス | 買い物に 行かない バス路線 廃止 | バス会社 減る | 高齢者 ドライバー が増える |

出生・子育て

| | | | | |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------|---------------------------|
| 施設に WiFiが ない | 子育て、 子育りに 不安が 増える | 魅力があ る人に出 会えない 学校 | 人生の 選択肢 の減少 | その市町 の学生、 学歴が 低い |
| 施設に WiFiが ない | 子育て、 子育りに 不安が 増える | 魅力があ る人に出 会えない 学校 | 人生の 選択肢 の減少 | その市町 の学生、 学歴が 低い |
| 施設に WiFiが ない | 子育て、 子育りに 不安が 増える | 魅力があ る人に出 会えない 学校 | 人生の 選択肢 の減少 | その市町 の学生、 学歴が 低い |

教育・文化・スポーツ施設

| | | | | |
|--------------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------|-------------------|
| スポーツ 施設が 少なく なる | 公民館 の活用 が 減る | 子供たちが 来なくな る | 歴史・文 化施設 が減少 する | 文化施設 が減少 する |
| スポーツ 施設が 少なく なる | 公民館 の活用 が 減る | 子供たちが 来なくな る | 歴史・文 化施設 が減少 する | 文化施設 が減少 する |
| スポーツ 施設が 少なく なる | 公民館 の活用 が 減る | 子供たちが 来なくな る | 歴史・文 化施設 が減少 する | 文化施設 が減少 する |

農業

| | | | |
|------------------|---------------------------|------------|---------------------|
| 家が建 たなくな る | 山が荒れ 、野生動 物が増 える | 産物な くなる | 米や野菜 の値段が 上がる |
| 家が建 たなくな る | 山が荒れ 、野生動 物が増 える | 産物な くなる | 米や野菜 の値段が 上がる |
| 家が建 たなくな る | 山が荒れ 、野生動 物が増 える | 産物な くなる | 米や野菜 の値段が 上がる |

お金

| | | | |
|------------------------------|----------------|-------------|-------------|
| 税金がな くなるの で行政も きびしい | 市が なくな る | お金の 入らない | お金の 入らない |
| 税金がな くなるの で行政も きびしい | 市が なくな る | お金の 入らない | お金の 入らない |
| 税金がな くなるの で行政も きびしい | 市が なくな る | お金の 入らない | お金の 入らない |

空家

| | | | |
|--------------------|-----------|------------|---------------------------------------|
| 地域の まとめで の不在 | 空家の 増加 | 空家が 増える | まちが コースト タウンに なっ てしま う |
| 地域の まとめで の不在 | 空家の 増加 | 空家が 増える | まちが コースト タウンに なっ てしま う |
| 地域の まとめで の不在 | 空家の 増加 | 空家が 増える | まちが コースト タウンに なっ てしま う |

環境エネルギー

| | | | |
|------------------|------------------|------------------------|-------------------------|
| 水道料 が 高くなる | 水道料 が 高くなる | ゴミ処理 場が 不足 する | ゴミの 処理場 が不足 する |
| 水道料 が 高くなる | 水道料 が 高くなる | ゴミ処理 場が 不足 する | ゴミの 処理場 が不足 する |
| 水道料 が 高くなる | 水道料 が 高くなる | ゴミ処理 場が 不足 する | ゴミの 処理場 が不足 する |

医療

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 病気の 悪化 | 介護の 悪化 | 介護の 悪化 | 病気の 悪化 |
| 病気の 悪化 | 介護の 悪化 | 介護の 悪化 | 病気の 悪化 |
| 病気の 悪化 | 介護の 悪化 | 介護の 悪化 | 病気の 悪化 |

防災

| | | | |
|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 災害発生 時の 避難 が 困難 | 避難 が 困難 | 避難 が 困難 | 避難 が 困難 |
| 災害発生 時の 避難 が 困難 | 避難 が 困難 | 避難 が 困難 | 避難 が 困難 |
| 災害発生 時の 避難 が 困難 | 避難 が 困難 | 避難 が 困難 | 避難 が 困難 |

公共施設

| | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る |
| 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る |
| 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る | 施設 の 管理 が 減る |

(三原市会場) Bグループ 課題

人口

| | | | | | | |
|------------------|-----------------------|---------|------------|--------------------|---------------|-----------|
| 組織の見直し必要 | 町内会ができない | お店がなくなる | 若い人の減少 | 若者への投資が減る(福祉面、選挙面) | 街に活気がなくなる | 地域の衰退 |
| 地域が分散する | 令和より昭和の方がキレイ→若者はイヤになる | 世代間の対立 | 郷土への愛着がない | 同じレベルなら都会へいく | 地域組織の維持 | 街の活気がなくなる |
| 認知症(の老人)が進む(増える) | 老人増加 | 孤独死が増加 | 人手不足 | 事業する人が都会へ流れる | 企業が倒産する(移転する) | 交通事故が増える |
| ここにいまいるうまみがない | 社会福祉が維持できない | 孤独死が増える | 魅力的な職場が少ない | 備からないので他へ流れる | 結婚しない | |

産業

| | | | | | |
|-------------------|------------------------|-----------|---------------------|--------------|---------------|
| 体力だけでは足りない技術の入り入れ | 飲食店の売り上げが増える | 薄利多売の限界 | リゾート化、ブランド化して、高所得狙い | 売り込みの工夫(商品) | おみやげ屋さんが倒産する |
| 空家、耕地を森林に | 食料価格(農作物)が高くなる | 逆に農林の価値UP | 耕作放棄地増大 | 耕作放棄地の増大 | 鮮魚が増える(あらいくま) |
| 野生動物増加、農作物被害 | 食料の高騰 | 農業のAI化 | 食料(農作物)が無くなくなる | 農林水産業のイメージUP | 魚が食べられない |
| 国内産の減少 | 給食に使われる食材がすべて他県・外国産になる | 地域イベントの減少 | 犯罪が増える | 観光メインの備後圏は衰退 | 観光をきっかけに移住? |

インフラ

| | | | | | | |
|------------------|-------------------------|-----------------------|-------------|------------------|---------------|---------------|
| モノが早くまでにかか | 配達が大変 | ネットショッピングで注文してもすぐ届かない | 景観の悪化 | 情報関係のトラブル復旧が遅い | 公共交通の減少 | 廃線⇄廃校 |
| トイレに行くにくい(公共トイレ) | 高齢者が免許返納できない | 老人の外出機会が減る | 既にバスはなくなった | 通学へ支障 | バス路線が廃線される | 学生さんが通学できなくなる |
| あいた時間での送迎の仕事 | 汚い→大会開かない、使いたくない、他に行きたい | インフラ整備がされない | ご近所より集まり停留所 | 自動運転のバスやタクシーの運用 | 雨の日に毎日遅刻してしまう | 学校選択の選択肢が減る |
| スポーツに取組む子供が減る | 水道料金が上がる | 水道設備維持出来なくなる | 水の高騰 | 水の供給ができなくなる、水質悪化 | 水道代の高騰 | 運動する機会が減る |

学校

| | | | | | |
|-----------|-----------|----------------------|----------------|------------------|------------|
| 部活の種類が減る | 学校の種廃合 | 保育園幼稚園に入り易くなる待機児童が減る | 育児と仕事の両立しやすくなる | 地元愛者が減る | 小中学校が廃校になる |
| 大学のカラーがない | 生き方の選択肢 | おせっかいな人の増加 | 高齢者を支えられない | 就職し易くなる(職業を選ばない) | 大学が移転する |
| 知の流出 | 特色ある学校が多い | 大学がある | 大学が移転する | | |

病院・介護

| | | | | |
|-------------------|--------------|---------------|----------------------------|--------------------------|
| 安心できる病院(産婦人科、小児科) | かかりつけ医院がなくなる | 医師難民が出てくる | 医師のすゝみ(設備規模) | 医療センターが充実している町へ移動する人が増える |
| 介護職員(働く人)が不足する | 介護施設の減少 | がんの治療に悩む人が増える | 小児科医・産科医が減り(外に行き)より住みづらくなる | |
| 介護職員が少ないと老々介護が増える | 働きの介護 | 健康保険料が高くなる | 小児科医・産科医が減り(外に行き)より住みづらくなる | |

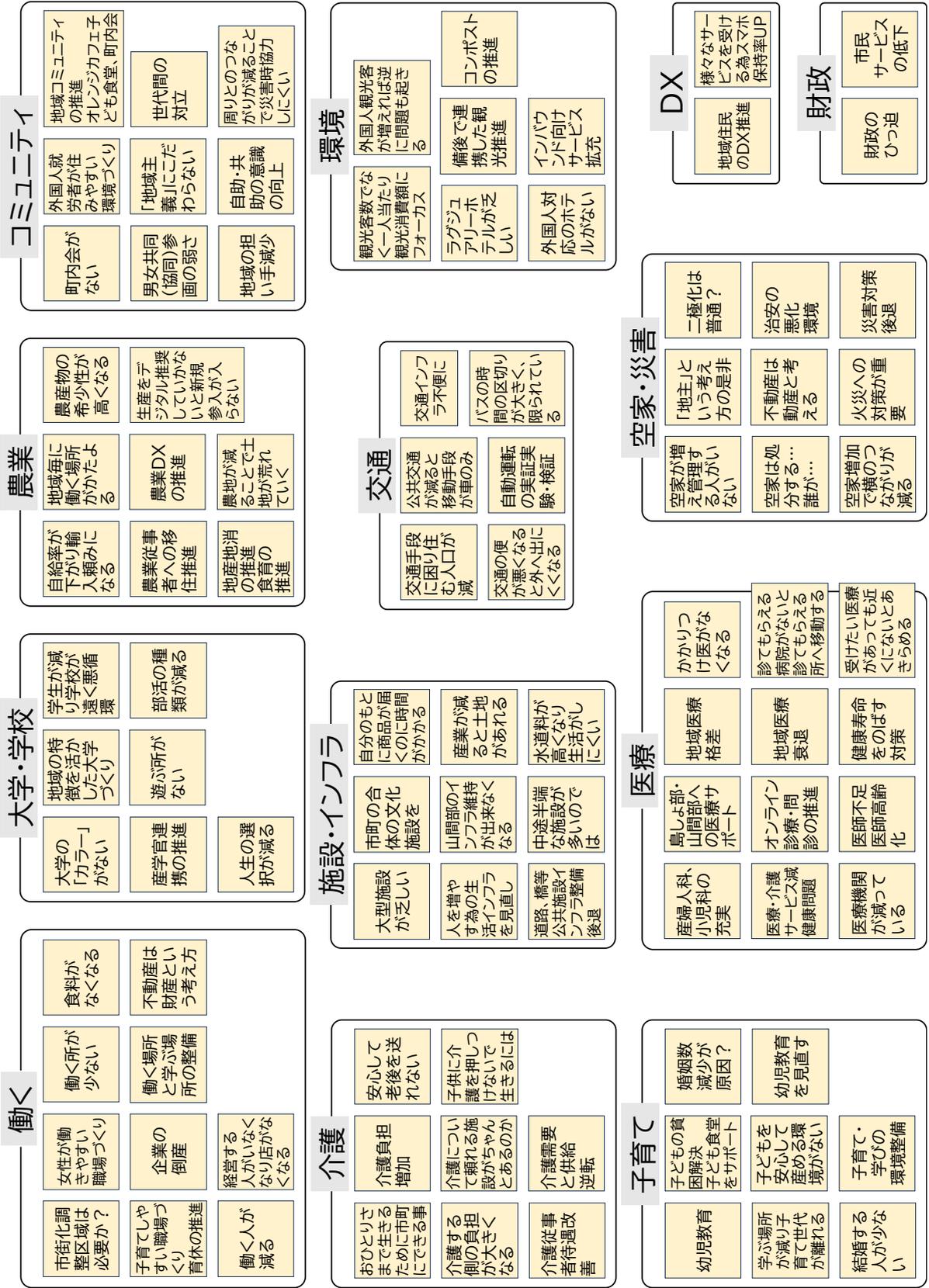
災害

| | | |
|--------------|----------------------|----------------|
| 避難の支援が不十分になる | 情報の共有の必要性(小単位でのつながり) | 夏は外出制限されるようになる |
| 助かる人を助けられない | 三原市役所が機能しない | 普段通り学校に通えない |

空家

| | | | |
|--------|---------|-------|-------|
| 犯罪が増える | 空家の二次災害 | 景観の悪化 | 治安の悪化 |
| 事故が起きる | 空家の倒壊 | 空家犯罪 | |

(三原市会場) Cグループ 課題



(三原市会場) Dグループ 課題

人口

(限界集落になりますよ～)

| | | |
|----------------------------|---------------------------|---------------------|
| 自治体な くなる | 都市 集中化 | 多様性が 高すぎる |
| コミュニ ティの低 下 | 能力が有 る方は都 市部に移 転 | 地域の担 い手減少 |
| リスクを 請け負う ことをし ない | 若者の 流出 | 郷土への 愛着がな い |
| リスクを 請け負う 覚悟がな い! | 若者が 出ていく | 魅力的な 街だと感 じない |
| 老年の 増加 | 人手不足 | |

出産・子育て

| | | |
|------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 出生率 低下 | 子育ての 楽しさを 伝えてい く事 | 産婦人科 医の減少 |
| 若い世代 が結婚し ない、子 供を産 まない | 子育てで 世帯が暮 しやすい か? | 教育(子育 て含む)選 択肢が少 な過ぎる |
| 就労先が 少ない | 就職した い企業等 が少ない | |

学校がなくなる!?

| | | |
|---------------------------|---------------------------|----------------------|
| 学校の統 廃合で選 択肢が減 る | 多様な生 き方を見 つけらな い | 魅力的な 大人と出 会わない |
| 学校の減 少 | 競争化が 弱くなる | 未来や夢 のある社 会の実現 |

施設課題

| | |
|--------------------------------|-------------------|
| 施設を 積極的に 改装 | スポーツ マンの 減少 |
| 公共施設が ない、生活 力の格差が 広がる | |

生活しづらさ

住み続け
たいまじ
になって
いない

交通の不足

| | | | |
|------------------------------|---|-------------------------------------|------------------|
| 車が運転 できない と生活で きかない | 都会のよ うにタク シーは配 車アプリ りになる で増々高 齢者の足 がなくな る | かといっ たタクシ ー業者も ドライバー 不足 | ライドシ ェア推 進 |
| 利用率低 下に伴う 料金値上 げ | | | |

都市基盤

(公共交通・公共施設)

| | | | |
|--|----------------------------|--------------|---------------------|
| 交通が今 よりもつ つ不便に なる | 市駅の活 用の仕方 を高める | 水道局が 破綻する | 安全な水 が担保で きるか |
| 交通手段が なくなる→ 高齢者は引 きこもる→ 孤独・孤立 を生む | 交通空白 地帯がよ り一層増 える | | |

観光

| | | | | |
|--------------------------------|--|-------------------------------|----------------------|---------------------------------|
| 観光客多 いが人口 は減少し ている | 観光が主 流な街に ありがちな 教育・子育 てetc置き 去り | 観光的魅 力のある 観光地を 作っていく | 古い建物 などを海 外へPR | 文化継承に 知恵を使わ ない、努力 をしない |
| 観光→移 住→がしか し定住にな らない! | 廃業増加 | | | |

空家

| | | |
|----------------------|-------------------------------|--|
| 空家の活 用ができて いない | 空家(一戸 建)の処分 費補助の 実現化 | 空家問題 所有者に行 きついても 必ずしも 治安への 影響 |
|----------------------|-------------------------------|--|

防災

| | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 被害時に 地域で助 け合える か | 危機意識 が低い(当 事者意識 はない) |
|---------------------------|-------------------------------|

医療・福祉・介護サービス

| | | | |
|----------------------|----------------------|--|--------------------------------|
| 生涯通し て暮らす 人が減る | 医師の高 齢化 | 医師に関 係する全 ての値上 げ(薬、初 診代、人件 費など) | 都市部に 医療サー ビスが集中 していく |
| 医療・福祉 のひっ迫 | 福祉の充 実化 | 必要ない サービスを 含めると 向稼には 受けられ ない | 福祉が充 実してい ない(住み たくない) |
| | 介護業界 の収益が 良くない | 早急に十 分な医療 を受けら れない | |

行政サービス

| | | | |
|--------------|-----------------------------|----------------------|--|
| 安芸方面 との格差 | 十分な収 入の確保 による人 口増加 | 地域資源 を活かせ ていない | 備後圏域 で連携を して行政 マンも入 れ替えて みれば? |
|--------------|-----------------------------|----------------------|--|

(三原市会場) Eグループ 課題

インフラ

| | | | |
|-------------------|---------------|-------------------|----------------|
| 文化財をモチーフにしたマンガを作る | 管理がでない | サテライト、VR・AR活用した資料 | 不便なイメージ(住みにくさ) |
| 事故が起りやすくなる | 交通インフラの低下 | 道路の安全確保 | 交通の際にお金が多くなる |
| 買物弱者の増加 | インフラ維持低下 | 交通手段が減る | バスや電車の本数がなくなる |
| 観光インフラ低下 | 災害時の避難先減少 | 買物に行けない人が出てくる | コミュニティーの弱体化 |
| ますます田舎から人がいなくなる | 便数が減る(兼ねなくなる) | 施設の多目的化 | |

災害対策・防災

| | | | |
|--------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|
| 二次災害の評価 | 治安への影響 | 外に出られなくなる | 施設が取り壊されて活動できなくなる |
| 災害対応力の低下 | 崩れたら危ない | CO2排出量の多い地域の拠出金提供 | 空家の証券化 |
| 逃げ遅れる人が増える | 出来ることをコツコツやる | 水道代あがる | 住宅問題 |
| 行政区外での連携した施設 | 地震で崩れる | 水道周りの整備の費用が高くなる | 青虫や動物の住み家(家が傷む) |
| 空家を使った犯罪 | 施設を直すお金が高くなる(税金をたくさん使ってしまう) | 水源の保護 | 処分にもお金がかかる |

産業

| | | |
|-------------------|------------|---------------|
| 太陽光設置で「里山」へ | 景観が悪くなる | 雇用の安定 |
| まちが汚れる | 文化財維持困難 | 働く場所が減る |
| ネットショップで注文しにくい | 中小企業の倒産増加 | 安芸の国との格差拡大 |
| 特産品がなくなる | 地産地消が困難 | 耕作地が荒廃する |
| 特産物がなくなる(買たれなくなる) | 農林水産が少なくなる | 観光地の魅力が低下していく |

暮らし

| | | |
|--------------------|------------|------------|
| 町内で診てもらえない | 需要と供給が合わない | 働きたくても働けない |
| 病院のない地域である | 地域別医療格差 | 景観の悪化 |
| 介護負担の増加 | 介護サービスの不足 | 市民サービス低下 |
| 介護サービス今までのまま受けられない | 予防活動が困難に | 田舎で空家が統出する |
| 老人ホーム入所待ちが増える | 認知症の予防と支援 | 地域イベントなくなる |

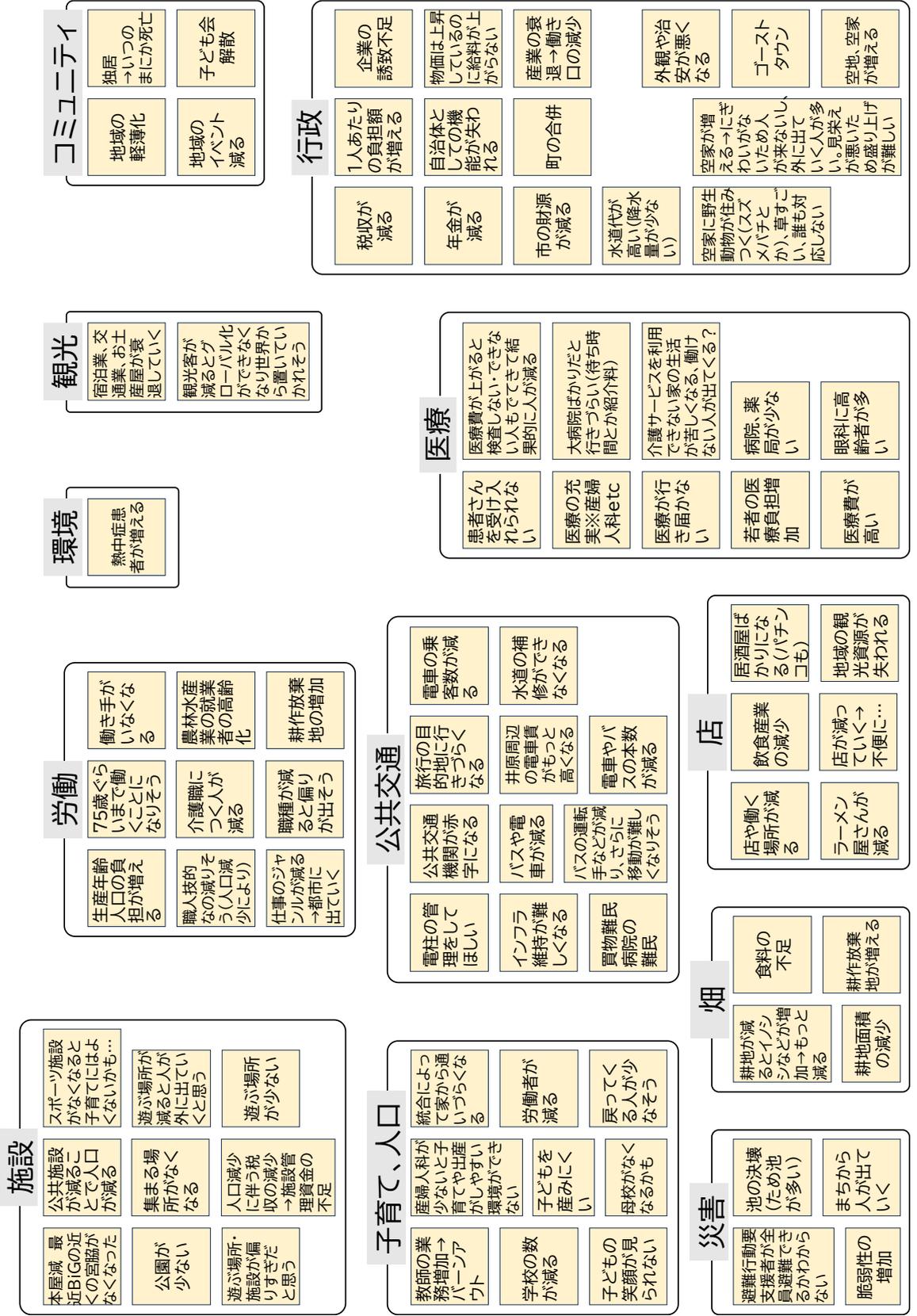
人口

| | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 消滅する町が出る | 若者中心の活性化の低下 | 子ども虐待防止 |
| 成り立たなくなる町が出る | ひとり暮らしが多くなる | 経済成長の鈍化 |
| 高齢化により人流が減る | 地域課題の対応力低下 | 孤独死の防止 |
| 地域が活性化しなくなる(活気) | 活発な活動がなくなる | サービス業の低下 |
| 町内会ができない | まちづくりへの影響 | 地域アイデンティティの消失 |

教育・文化

| | | |
|----------------|----------------|--------------|
| ゴーストタウン化する | 文化継承に力を使わない | 保育所・小学校がなくなる |
| 祭りイベントがなくなる | 魅力的な大人と出会わない | 子ども情報なくなる |
| 地域の行事など継承できない | 地元大学への進学減少 | 文化・芸術の衰退 |
| 町のことを知る人が少なくなる | 図書館+コミュニティスペース | イノベーションの減少 |

(井原市会場) Aグループ 課題



(井原市会場) Bグループ 課題

防災

| | |
|--------------------------------|---|
| 助け合い ができてい くなる(地 震など) | 最低3日食 料の準備を する(水・食 料・トイレ シート) |
| 各企業・学 校での防 災意識の 強化 | 地震が30 年で90% 確率で発 生する「ト シズ」 |
| 防災時の 連携など 受け入れ | 学校で総 合学習の 時間を使 い防災意 識の向上 |
| 身近な対象 を具体的に 指導 | |

農水

| | | | |
|-------------------------------|---------------------|----------------------------|------------|
| 自給率が 下がって有 限の間に 備えたい | 食料を自 給できない | 農業など の衰退 | GDPの 減少 |
| 家業を継 ぐ若者の 減少 | 昔れた農 地が過剰 の懸念 | 耕種が減 るとレバ ンが伸び ない | |
| 地産地消 の減少 | 後継者探 しの仕組 み化 | 農産物の 輸出が 減る | |
| | | インシ デントの 発生 | |

エネルギー

| | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 電気自動 車の採用 | 飲み水は自 然で使えば 0.3%しか 使えない |
| インフラ 維持が難 しくなる だろう | 技術向上 を折る 次のエネ ルギー |

教育

| | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 地域の魅 力を活か した学校 づくり | 母校が 無くなる |
| 教室数の 減少→閉 校 | 学校・幼稚園 も閉校 跡地利用 を有効に |
| 教師1人 に対する 子どもの 増加 | 登下校の 負担・不 安増加 |
| 教育者の 質の低下 | 子ども会 の減少 |
| 子どもの居 場所・不登 校・他町 での利用 | 教師の業 務増加に 対応 |
| 教育の中 で経験・出 産の機会 を減らす | 高校の数 大学の数 |
| 児童が過 剰な夏 休みに 苦しむ | 文化の 継承 |
| | 伝統文化 の衰退 |

公共

| | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 古い施設 を取り壊 し新しい 施設を | 収益化 |
| 地域での 施設利用 が減る | 水道の補 修ができ なくなる |
| | 有収水重 減になる と水 道料UP!! |
| | 税金も高 くなる 公共 施設 |
| | 施設老朽 化による 取り壊し |
| | 格差 |

若者・人口

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| 就業期間 の延長 ~75才 | 子供には3 人産めと 言われて いる |
| 小学校のイ ンクル ープ | マップナ グア ン |
| 全国どこ でも同じ 状況 | 若者の存 在が貴重 になる |
| ヤングク ラア | 地域差に よる認知 のギャップ |
| ヤングク ラア | 地域で子 どもを 育てる 環境 |

医療

| | |
|------------------------------|----------------------|
| 井笠には 産婦人科 0!! | 産婦人科 がなくな っている |
| 病棟の数 減少 | 医師の数が 減る |
| 需要減少 による更 なる医師 数の減少 | 地域への 受け入れ が難しい |
| 税金とられ る(2回目) | 介護士と 同じよう に |

観光

| | |
|----------------------|------------|
| 笠岡は観 光客が少 ない! | 観光客の 減少 |
| 外貨がと れず国内 に下り | 観光客の 減少 |
| 観光という イメージ が薄い | 観光客の 減少 |
| 3世代が 居住して いない | 観光客の 減少 |

産業

| | |
|------------------------------|---------------------------|
| 地域産業 の認知度 向上 | 初老の方 が働き続 けること に |
| 若者が少な い→高校卒 業後出て いく | 若者の 地域離れ |
| 地元企業 が減る | 地元企業 が減る |
| 観光客の 減少 | 観光客の 減少 |

交通

| | |
|-------------------------------------|----------------------|
| バス停を 増やす | バス・電 車の運賃 の値上げ |
| 運賃が高 くなる! | バスと交 通機関の 連携削減 |
| 乗客が少 なくなる | 公共交通 が赤字に |
| 各公共機 関との連 携による メリット の減少 | バス停、 本数の 減少 |
| 若者の公 共交通機 関の利用 者減少 | バス・電車 の利用者 減少 |

介護・健康づくり

| | |
|-----------------------|--|
| 介護者の 負担増加 | 近所づき あいが減 る |
| 安楽死 | 若者が 出てい くこと による 介護者 の減少 |
| 自分の過 ぎを 悔や む | 2030年 に介護 施設が どの くらい 必要か が不明 |

空家

| | |
|---------------------|--------------------|
| 空家増 →有効利 用して! | 倒壊の 恐れ |
| 空家の活 かす方 案 | 空家に草 が生える |
| 空家によ る景観 の悪化 | 雑草 すこそ |
| 車心らが 増える | 空家の 増加 |
| 空家の 増加 | 火災増加 燃え移り など |
| 景観の 悪化 | ごみの ポイ捨て 増加 |

(井原市会場) Cグループ 課題

産業、農林水産、観光

| | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------|-----------------------------|------------|--------------|-----------------------|---------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 消滅自治体 | お祭りやイベント等の縮小による活気の低下 | 地域の文化・伝統が消える | 山が荒れる | 農家がなくなり | 企業の撤退による税収の減少 | 働ける人の就業年齢を上げる | 楽しい場所がない | 観光客が減るのは外貨獲得の機会を失い税収の減少にも |
| 若者の年金負担増 | 国・自治体の財政が悪化→増税せざるを得ない | 給料が安い、最低賃金が低い | 山が増え田・畑が減る | 山林の育成(木を植える) | スーパーが閉店する | 円安が進む→物価上昇→最悪はデフォルト | 街の魅力が伝わらない | 観光収入減 |
| 過疎化 | 生産年齢帯の負担上昇 | 海外からの移住者・帰国者増やす | 山が荒れる | 農家がなくなり | 生産量が減り値段が高くなる | 職場減(支店減) | 地域の魅力を高め発信し続けられないと観光客は他地域に取られる | 全校のオーパーツ・リズムの受け入れ |
| 人口減少が更に進み社会・経済が低迷する | 人口減少が結婚出来なくなる | 優秀な日本人若者(米、欧)に活路を求め(日本を)見限る | 山が荒れる | 農家がなくなり | 日本の国際的地位が低下(政治・経済...) | 圏域外のお金の流れが弱くなる(市町村) | 観光地のセールスと開発 | 地元の人が行きたくなくなる観光地をつくる |

医療、介護

| | | | | | | | | |
|--------------|----------------|--------------------------|------------|--------------|-----------------|---------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 病院が減る | 介護士の待遇改善 | 老々介護UP | 山が荒れる | 農家がなくなり | 企業の衰退 | 働ける人の就業年齢を上げる | 楽しい場所がない | 観光客が減るのは外貨獲得の機会を失い税収の減少にも |
| 介護予防の対策が出来ない | 病院に行くのに時間がかかる | 要介護者が十分な介護を受けられなくなる | 山が増え田・畑が減る | 山林の育成(木を植える) | 技術を使っていた部分を補う | 円安が進む→物価上昇→最悪はデフォルト | 街の魅力が伝わらない | 観光収入減 |
| 病院と共済局も消える | 健康開発、事業の推進 | 医師のリストラ | 山が荒れる | 農家がなくなり | 営業している店が減る | 職場減(支店減) | 地域の魅力を高め発信し続けられないと観光客は他地域に取られる | 全校のオーパーツ・リズムの受け入れ |
| 孤独死が増える | 医師、看護師を目指す人が減る | 医療機関の経営悪化→医療の質低下、病院の閉鎖発生 | 山が荒れる | 農家がなくなり | 将来性のある企業の高知及び増加 | 圏域外のお金の流れが弱くなる(市町村) | 観光地のセールスと開発 | 地元の人が行きたくなくなる観光地をつくる |

人口

| | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------|-----------------------------|------------|--------------|-----------------------|---------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 消滅自治体 | お祭りやイベント等の縮小による活気の低下 | 地域の文化・伝統が消える | 山が荒れる | 農家がなくなり | 企業の衰退 | 働ける人の就業年齢を上げる | 楽しい場所がない | 観光客が減るのは外貨獲得の機会を失い税収の減少にも |
| 若者の年金負担増 | 国・自治体の財政が悪化→増税せざるを得ない | 給料が安い、最低賃金が低い | 山が増え田・畑が減る | 山林の育成(木を植える) | スーパーが閉店する | 円安が進む→物価上昇→最悪はデフォルト | 街の魅力が伝わらない | 観光収入減 |
| 過疎化 | 生産年齢帯の負担上昇 | 海外からの移住者・帰国者増やす | 山が荒れる | 農家がなくなり | 生産量が減り値段が高くなる | 職場減(支店減) | 地域の魅力を高め発信し続けられないと観光客は他地域に取られる | 全校のオーパーツ・リズムの受け入れ |
| 人口減少が更に進み社会・経済が低迷する | 人口減少が結婚出来なくなる | 優秀な日本人若者(米、欧)に活路を求め(日本を)見限る | 山が荒れる | 農家がなくなり | 日本の国際的地位が低下(政治・経済...) | 圏域外のお金の流れが弱くなる(市町村) | 観光地のセールスと開発 | 地元の人が行きたくなくなる観光地をつくる |

都市基盤、歴史、スポーツ

| | | | | | | | | |
|------------|-----------------------------|----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------|---------|
| 学校がなくな | 保育園・幼稚園の体験、教育がなくなる | 高校・大学の定員割れが増加→倒産・廃校 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 便数が少なく乗りにくい。特に朝と夜。 | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |
| 教員等なり手不足 | 教員不足 | 子どもに居場所の減少 | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 公共交通・施設などの利用率が低下→自治体が補填 | 福塩線も廃線の危機に襲われる | 五輪など国際スポーツ大会において獲得メダル数減 | 空き家が増える | 空き家が増える |
| 子どもの居場所の減少 | 小学校等の減少→教員の不足 | 日本の教育レベルが低下する←少子化、廃校 | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 公共交通・施設などの利用率が低下→自治体が補填 | 廃線も増加→通字に支障 | 空き家が増える | 空き家が増える | 空き家が増える |
| 学びの場所がなくなる | 進学に関して悪くなる。そこから戻ってくる仕組みが必要。 | 政治力・国力低下→第3次世界大戦が発生し巻き込まれる | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 公共交通・施設などの利用率が低下→自治体が補填 | 地域の文化・スポーツの低下(体力・知力カの低下) | 空き家が増える | 空き家が増える | 空き家が増える |

安心、安全、環境、エネルギー、地域振興

| | | | | | | | | |
|------|-----------------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|-----------------------|--------|---------------------|---------|
| ごみ減る | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | 新しい事業を創造し、新たな事業を創出 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |
| ごみ減る | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | 新しい事業を創造し、新たな事業を創出 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |
| ごみ減る | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | 新しい事業を創造し、新たな事業を創出 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |
| ごみ減る | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | 新しい事業を創造し、新たな事業を創出 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |

出産、子育て、教育

| | | | | | | | | |
|------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------|--------------------------------|-----------------------|--------|---------------------|---------|
| 学校がなくな | 保育園・幼稚園の体験、教育がなくなる | 高校・大学の定員割れが増加→倒産・廃校 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |
| 教員等なり手不足 | 教員不足 | 子どもに居場所の減少 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |
| 子どもの居場所の減少 | 小学校等の減少→教員の不足 | 日本の教育レベルが低下する←少子化、廃校 | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |
| 学びの場所がなくなる | 進学に関して悪くなる。そこから戻ってくる仕組みが必要。 | 政治力・国力低下→第3次世界大戦が発生し巻き込まれる | 老朽化・事故・取り壊し・修繕費用etc | バス会社が倒産し定期券が使えないという過去に同じことが起きる | 水道料金、ごみの処理にかかる費用が高くなる | バス停が減る | 隣近所付き合いが薄い。誰かわからない。 | 空き家が増える |

(井原市会場) Dグループ 課題

人口

| | | | |
|--------------------------------|---------------------|--|---|
| お客が減る →収入減 | 少子高齢化 | 空き家が 増→地域 の価値減 | 人口減少に よる消滅可 能性の都 市の増加 |
| 高齢者を 世話する 人々が足り ない | 人口減少 | 働き手が より長く 働くこと になる | 圏域での 若者の存 在が貴重 となる(価 値上がる) |
| 学校が統合 →人口少 の学校は なくなる | 自治体 消滅 | 人口減集 落の集団 移転 | 楽しい祭 りが少 なく、出 来なくな る |
| 子育てが 大変 若手減 | 若者の年 金負担額 の増加 | 人口減少 により廃 業が相 次ぎ 人口減少 へ | 地域の文 化・伝 統が 消え られ てし まう |
| 子ども 向けの 品物の 消費が 減る | | | |

就職、雇用

| | | | |
|---|------------------------------------|--|--|
| 農、鉦、 後のチャ ンズ？ 衰退？ | 店や勤 場所が 減る | 観光業の 衰退 | 高齢者の 移動、移 送の問題 |
| 就業者 不足 | 地元ス ーパー 閉業 | 農林業の 働き手 減少 | 独居→ 1人の 間に 白骨化 |
| 働く場所と 住む場所の 分離が進む (国単位で) | 人員不足 | 出来る農 業(とこ でも、 出来 ない農 業)→ 差別化 | 介護を支 える人 が 減る →セ ーフ ティ ネット から 漏れ る |
| 就職先の 減少 | 他の地域 と比べて どうなの ？ 就:30% | | 医療の集 約化 安心し て産め るところ がな くなる |
| 働き手の減 少により 介護 現場に も支障 の可能性 | | | |

医療、介護

| | | | |
|---------------------------|-----------------------|---------------------------------|--|
| 緊急の対 応が出来 ない ⇒悪化 | 介護費用 ↑ ⇒生活 難 | 働きやす い職場 環境が 求め られる | 介護を 支 える 人 が 減 る → セ ーフ ティ ネ ッ ト か ら 漏 れ る |
| 医師の リストラ | 予防が× ⇒ 医療費 ↑ | がんの早 期発見 が不可 | 産婦人科 |
| 医療施設 のバンク ⇒リタイ ア | | | |

都市基盤

| | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 山間部に スポーツ 施設が 多い 維持大 変 | インフラ 維持が 難しく なる | 地域が 悪く なる | 地域住民 での施設 活用が 減る (資料の 保存が 困難) |
| 本屋は？ | バスは 無く なると この まま (な) | 市町間の 人流が 減る | 車を 持 て ない 運 転 出 来 ない 人 の 交 通 の 便 利 さ |
| 移動難、 改築費 | 大規模 サー ビス 提 供 設 施 の 縮 小 、 廃 止 | 夜飲みに 行け ない | 交通手 段 が な けれ ば そ れ ぞ ろ の 施 設 の 利 用 回 数 減 少 へ |
| 電車やバス が減ると 登校が 難しく なる | 大量輸 送シ ステ ム の縮 小 | 水道、 ゴミ 、住 民サ ー ビ ス は 対 応 出 来 ない | |

子育て、教育

| | | | |
|-------------------|--|--------------|-------------------|
| 教育の 質が 上がる？ | 大人数で 行う授 業・行 事が出 来ない | 大卒新採 の減少 | 教育の 質が 上がる？ |
| 廃園・ 廃校 | 若者層の 激減 | 教員不足 | 教育の 質が 上がる？ |
| 通学困難 | 子どもを 生かす ため に 費 用 が 減 る or 1 人 当 り の 交 付 額 が 減 る | 遊び場が なくなる | 教育の 質が 上がる？ |
| | 子どもを 生かす ため に 費 用 が 減 る or 1 人 当 り の 交 付 額 が 減 る | 遊び場が なくなる | 教育の 質が 上がる？ |

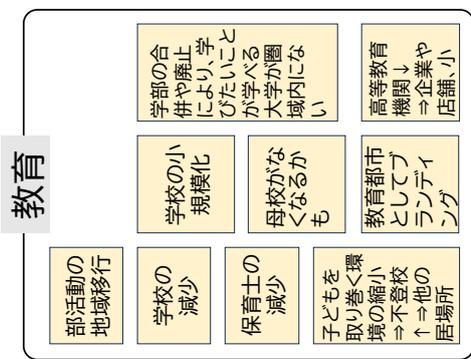
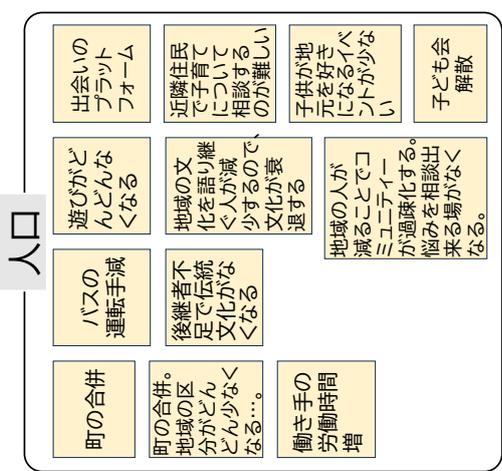
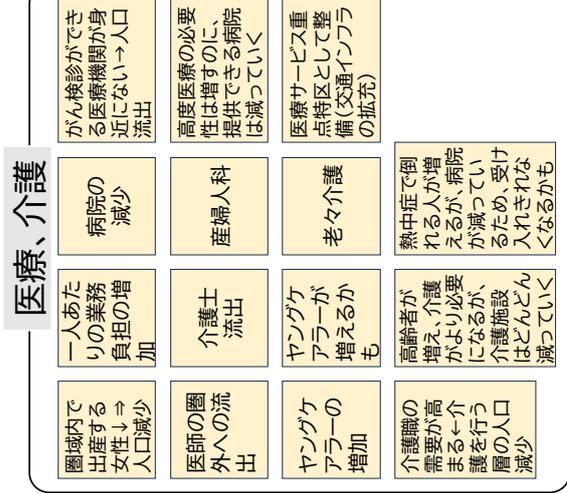
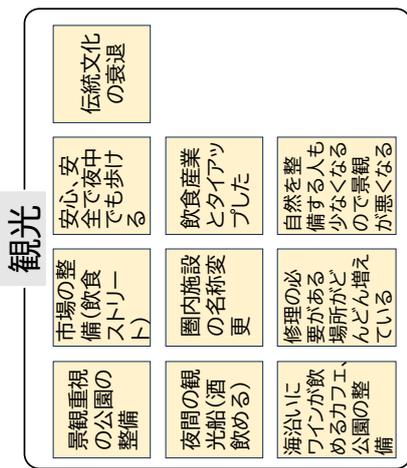
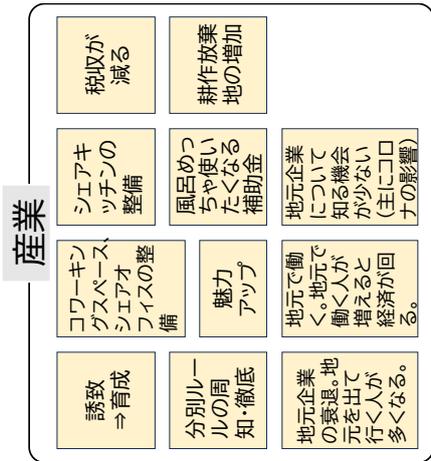
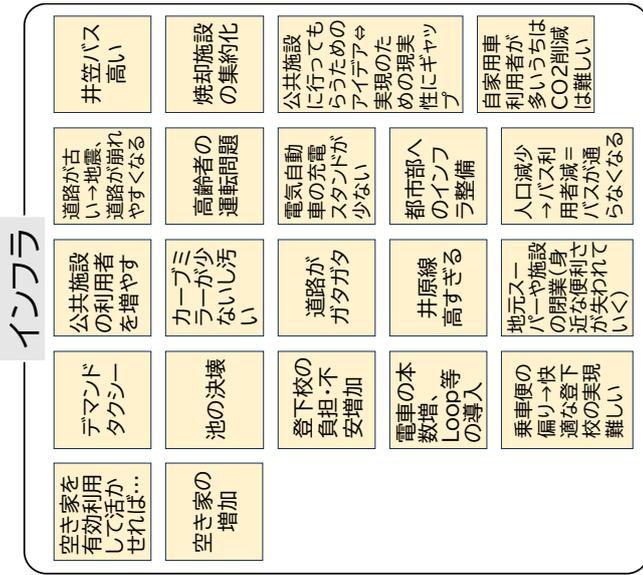
レジャー、観光産業

| | | | |
|--|--------------------------|--------------------------------|------------------------|
| イベントが 減る！ (特に 地域 イ ベ ン ト) | レジャー スポット の認知 度 | 観光客(特 に外国 人) 数の回 復 | レジャー スポッ トの 数 |
| 全国のオ ーパ ーリ ズム 受け 入れ | 遊ぶ場 所が 少 ない | | |

安心安全、エネルギー

| | | | |
|---|--|--|--|
| 大災害が あると 見捨 てられ る地 域が 出る | 廃水のろ 過等に 必要 な費 用不 足 | 地球温暖 化促進 | 新しい人 を受け 入れ ない |
| 福山液状 化から 復旧が 遅い | 解体費用 | 人口減 とエ ネ ル ギ ー (CO 2 分) が 減 る か も | (空き 家) ど ん ど ん 人 が 出 て 行 く (魅 力 な し) |
| 災害地の 集団移 転 | 製造業の CO2減 のため の地 域 の取 組 み | (2020 年4 月 の コ ロ ナ の 時) | 空き 家 に 野 生 動 物 、 草 、 ス ズ メ バ チ 、 誰 も 対 応 し な い |
| 防災時の 適切な 行動が 出来 ない 人口 増や さ なければ | 電気が ない | 役場職 員の 負担 増 | 維持費 |

(井原市会場) Eグループ 課題



2.2 取組のアイデア、めざす未来像

(1) 分野ごとの主なアイデア（課題の解決策）

| 分野 | アイデア |
|---------------|--|
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ● 郷土愛の育成 ● 若者のチャレンジできる場の創出 ● 都市部からの移住支援 ● スタートアップ支援、事業の承継支援 ● 大学と地元企業のつながりを強化する ● 異業種の交流 ● 高齢者の働く場所を増やす ● 障がい者への理解促進 ● 外国人労働者向けの日本語教育・専門教育の充実 ● AI やドローンなどの IT 技術の積極活用・普及 |
| 農林水産業 | <ul style="list-style-type: none"> ● スマート農業やロボット・ドローンの活用支援・補助 ● 農業支援で移住者を増やす |
| 観光 | <ul style="list-style-type: none"> ● 連携したブランド力の向上 ● 地域の歴史や魅力の再認識 |
| 高度医療 | <ul style="list-style-type: none"> ● オンライン診療や手術のための機器の導入 ● 医療情報を共有できるシステムや連携体制の構築 |
| 都市基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の維持・利便性の向上 ● 圏域全体でインフラ等の見直し |
| 高等教育 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特色を活かした大学・学科づくり ● 地元に戻ってきたら、奨学金が返済免除になるなどのインセンティブ付与 ● 学生と地域のコミュニティを広げる（職場体験、高・大・産連携） |
| 医療・福祉・介護サービス | <ul style="list-style-type: none"> ● 備後地域での医療・介護格差をなくす ● リモート診察の普及 |
| 健康づくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 予防医療の PR と拡充 ● 健康増進イベントの企画と実施 |
| 出産・子育て | <ul style="list-style-type: none"> ● 出産や子育て施策の連携と支援の充実 ● 子どもが楽しめる場所を増やす |
| 安心・安全 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市町の枠を越えた災害支援・対応力の強化 ● 必要な物資や情報の共有や体制の構築 ● 防災、地域コミュニティの強化、合同訓練 |
| 環境・エネルギー | <ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラルの推進 ● 都市部に緑を増やす |
| 行政サービス | <ul style="list-style-type: none"> ● 各市町の特徴を生かした役割分担 ● DX の推進 |
| 地域振興 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市町を超えたデマンド交通の導入 ● 圏域内の交通インフラの連携を強化 ● 若者の声、考えを聞くワークショップをもっと開催、若者活動支援 |
| 歴史・文化・教育・スポーツ | <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツや芸能などの育成に力を入れチャレンジ出来る環境をつくる ● 芸能・芸術の文化を高め、地域の価値を上げる |

(エ) めざす未来像

将来予測される課題やアイデアを踏まえ、各グループで備後圏域のめざす未来像を議論しました。

1) 福山市会場

- ・さまざまな体験ができる備後圏域 (A グループ)
- ・備後圏域全体で魅力あふれる愛着が醸成される備後圏域 (A グループ)
- ・備後圏域資源のブランド化による観光の連携 (A グループ)
- ・コスパの良い多拠点生活が実現できる (海・山・川など自然が感じられる) 備後圏域 (A グループ)
- ・若者の承認欲求を満たせそうな備後圏域 (B グループ)
- ・インターナショナルな備後圏域 (B グループ)
- ・農林水産業が持続的な備後圏域 (B グループ)
- ・日本一つながる備後圏域 (C グループ)
- ・押し活に優しい備後圏域 (C グループ)
- ・テクノロジーが発展し、人口が減っても大丈夫な備後圏域 (D グループ)
- ・若者が帰って来たくくなるような備後圏域 (D グループ)
- ・年齢関係なく自由に学び自由に働ける備後圏域 (E グループ)
- ・9の地域で1つのコンパクトシティ! (E グループ)
- ・若者がやりたい事を否定しない備後圏域 (E グループ)
- ・帰って来たい故郷な備後圏域 (F グループ)
- ・若者がチャレンジできる備後圏域 (F グループ)
- ・農業も中小企業も全力バックアップな備後圏域 (F グループ)
- ・一人ひとりが観光大使な備後圏域 (F グループ)
- ・スマートでコンパクトな備後圏域 (G グループ)
- ・ロケ地を誘致して魅力的な備後圏域 (G グループ)
- ・全国の人がつながり、愛される備後圏域 (H グループ)
- ・人が集い関係を創る備後圏域 (H グループ)
- ・つながりを通じて創る、選ばれる備後圏域 (H グループ)
- ・人が集まり経済を回すような備後圏域 (H グループ)

2) 三原市会場

- ・AI と共に成長する備後圏域 (A グループ)
- ・”安”心・叶える備後圏域 (A グループ)
- ・愛T でつながる備後圏域 (B グループ)
- ・とがった備後圏域 (B グループ)
- ・世界に誇る瀬戸内海 (備後圏域) (C グループ)
- ・地域に密着した大学のある備後圏域 (C グループ)
- ・人・カネ・モノが増える備後圏域 (D グループ)
- ・若者に寄りそえる備後圏域 (D グループ)
- ・魅力的な備後圏域 (D グループ)
- ・魅力がギョット詰まった未来都市圏備後圏域 (E グループ)
- ・若夫婦が一戸建てで暮らせる備後圏域 (E グループ)
- ・みんなで教える備後圏域 (E グループ)
- ・朝・昼・晩ずーっと一緒!!な備後圏域 (E グループ)

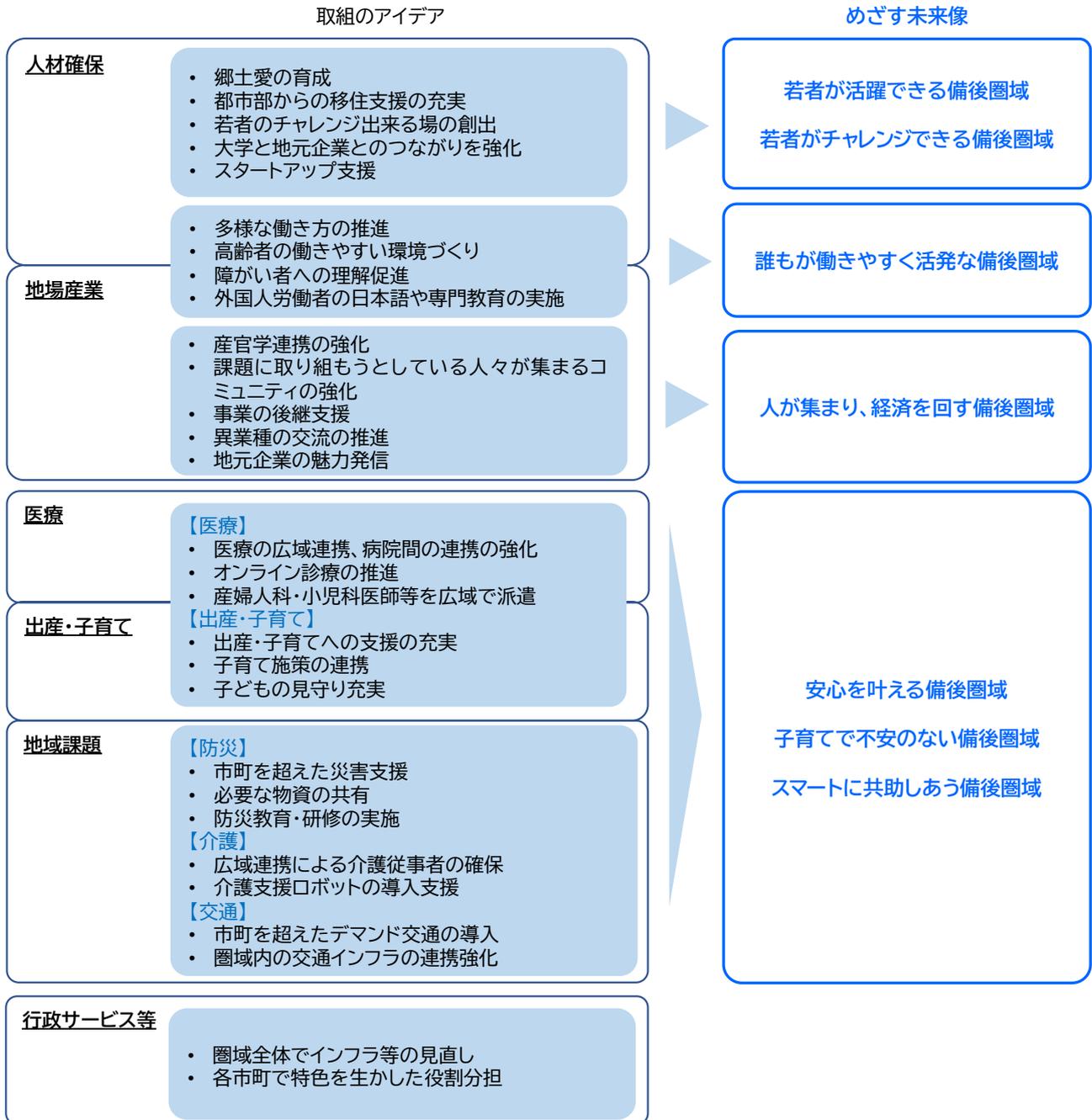
3) 井原市会場

- ・連携のとれた備後圏域 (A グループ)
- ・若者が地域を盛り上げる備後圏域 (A グループ)
- ・働きやすく活発な備後圏域 (A グループ)
- ・ストレスなく移動できる備後圏域 (B グループ)
- ・大学がハブな備後圏域 (B グループ)
- ・子育てで不安のない備後圏域 (B グループ)
- ・シェアする備後圏域 (C グループ)
- ・スマートに共助しあう備後圏域 (C グループ)
- ・仕事・学校・医療福祉ほか魅力いっぱい安心安全な備後圏域 (C グループ)
- ・DX で地域が輝く備後圏域 (D グループ)
- ・外国人が来やすい備後圏域 (D グループ)
- ・レジャー観光を充実させ若者に寄り添う備後圏域 (D グループ)
- ・オンリーワンな備後圏域 (E グループ)
- ・人が循環する備後圏域 (E グループ)

(オ) めざす未来像のまとめ

主なアイデアとめざす未来像のつながりをまとめました。

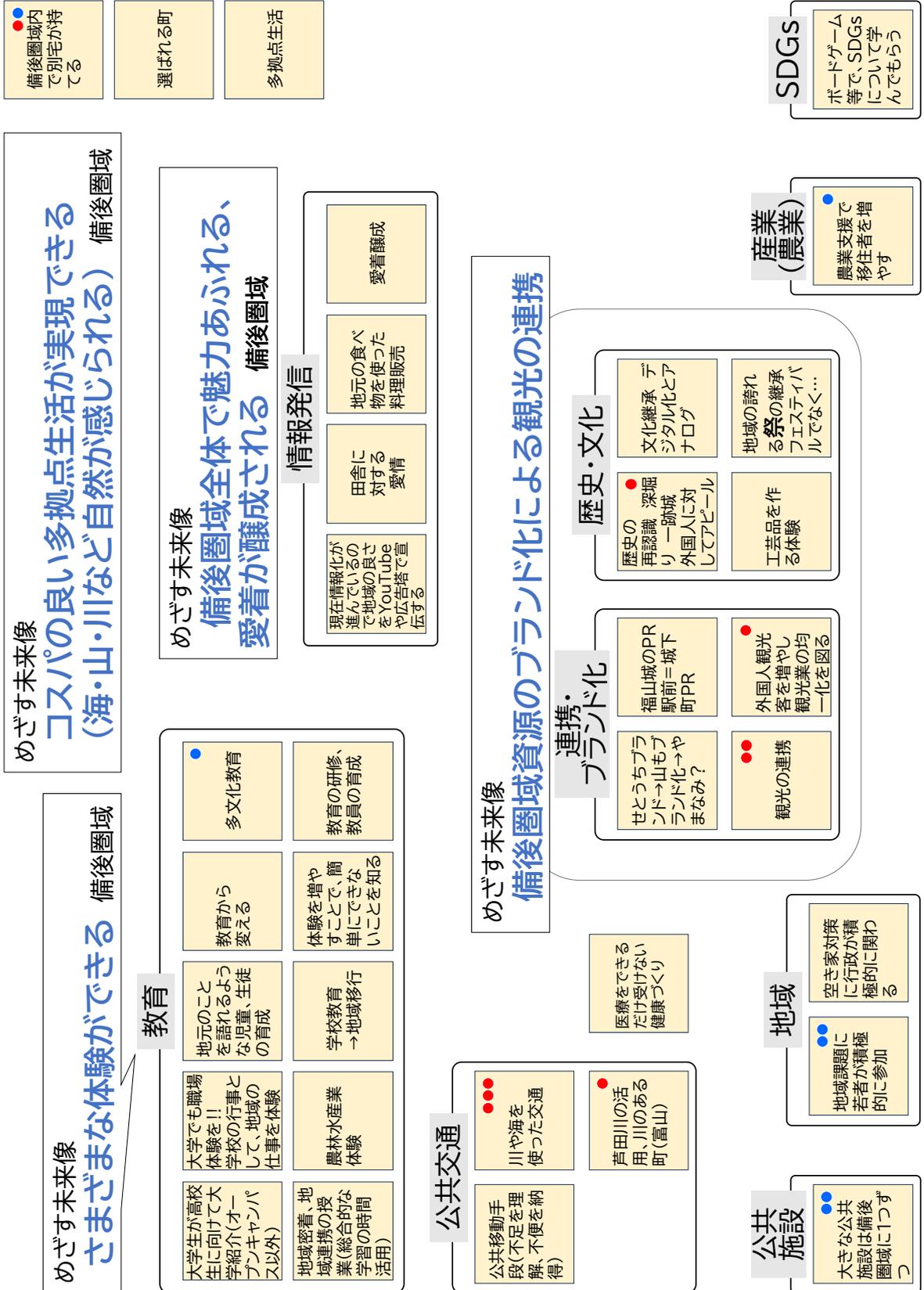
図表 2-2 アイデアとめざす未来像のまとめ



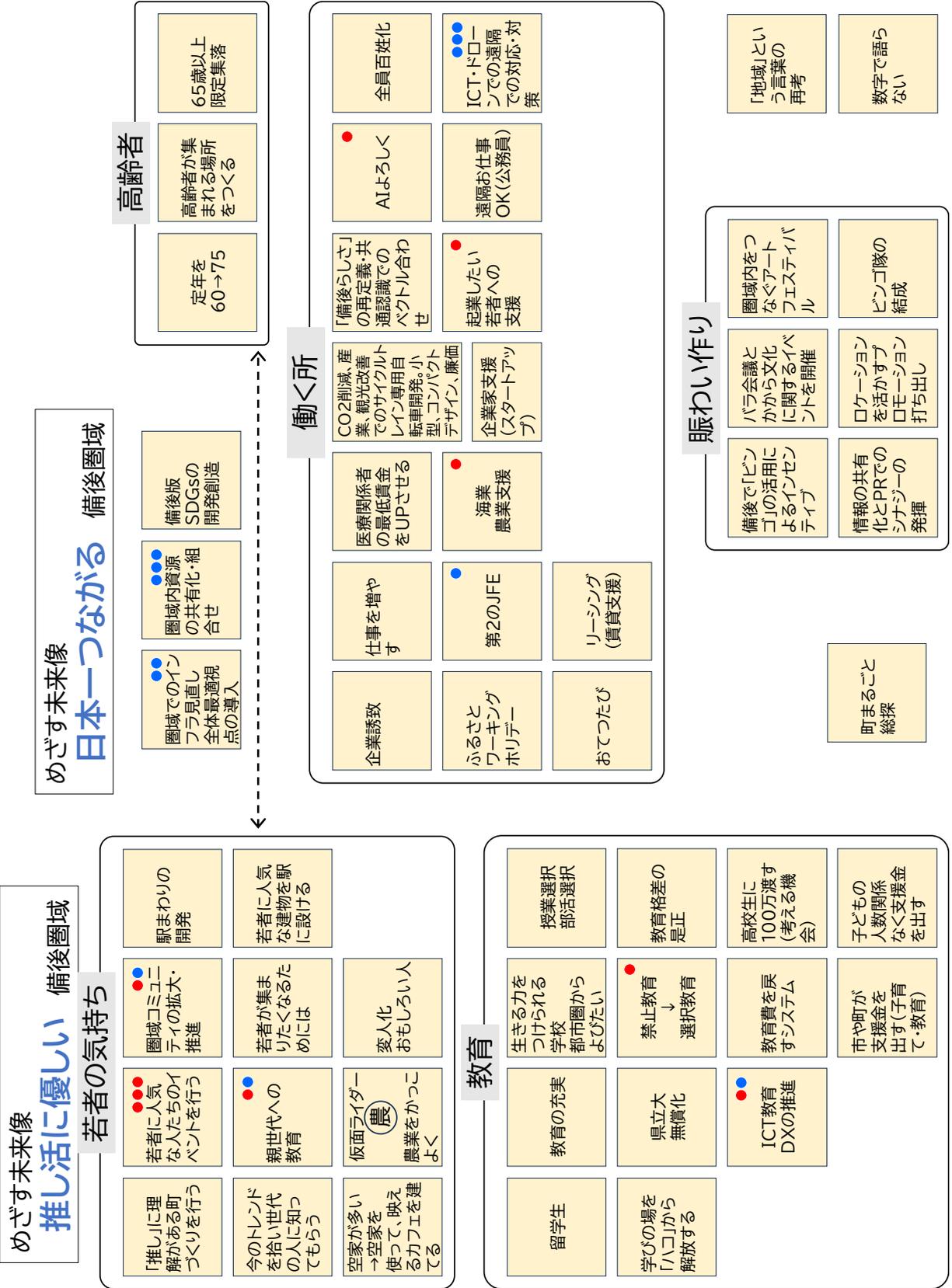
(2) 各会場・各グループの意見シート
 (ア) 福山市会場

● : 他のグループの参加者が良いと思ったアイデア
 ● : 傍聴者や事務局などが良いと思ったアイデア

(福山市会場) Aグループ アイデアとめざす未来像

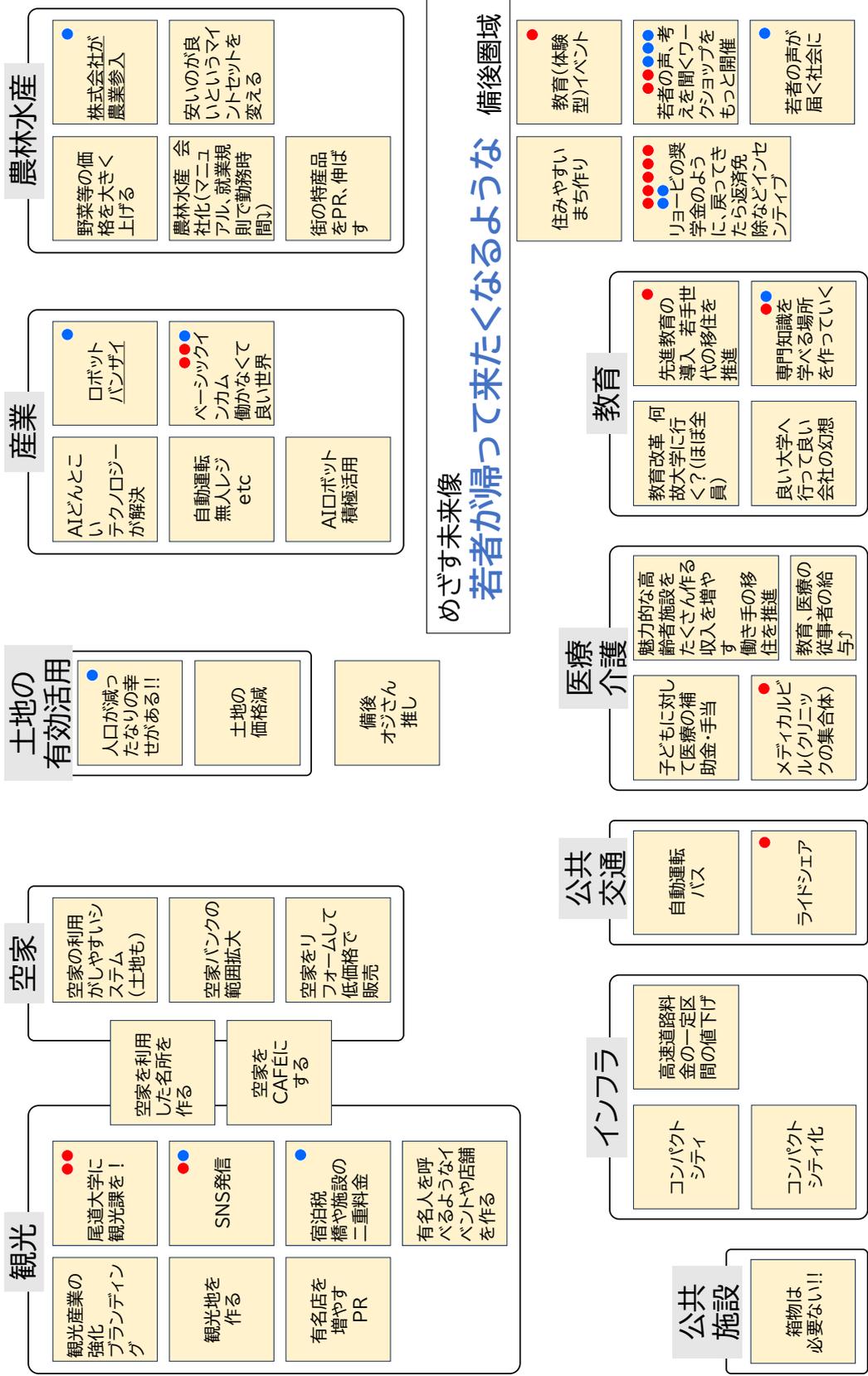


(福山市会場) Cグループ アイデアとめざす未来像

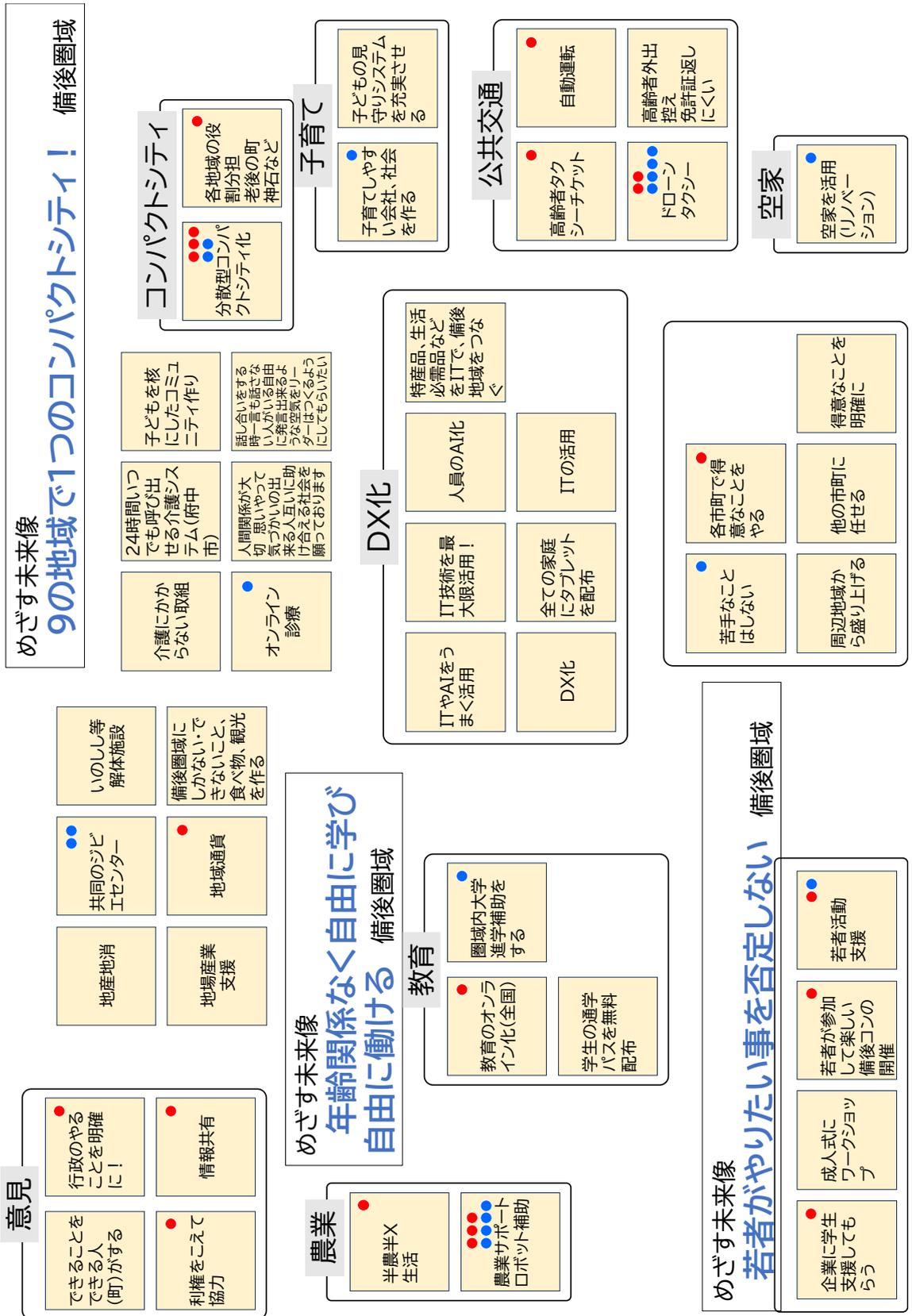


(福山市会場) Dグループ アイデアとめざす未来像

めざす未来像
テクノロジーが発展し、人口が減っても大丈夫 な備後圏域



(福山市会場) Eグループ アイデアとめざす未来像



(福山市会場) Fグループ アイデアとめざす未来像



(福山市会場) Gグループ アイデアとめざす未来像

めざす未来像

ロケ地を誘致して魅力的

スマートでコンパクト

めざす未来像

な備後圏域

な備後圏域

人口

| | | |
|-------------------------------------|------------------------------|--------------------|
| 所属(学校・会社・自治体)と世代を越えた関わりをつくりお互いを理解する | 戻りたい 住みたい 残りたい 街づくり | 子どもを多くもてる 制度、地域 |
| 対話 地域づくり 関係づくり | | |

医療

| | | |
|--------------------------------------|------------------|-------|
| 医療に依存せず家族単位で医療知識を上げる 受診が必要かどうかの判断 | 病院が治療でなく予防に重きを置く | AIの活用 |
|--------------------------------------|------------------|-------|

交通

| | |
|-------|------------------------------|
| 選択と集中 | 取捨選択を行う(必要なものはリフォーム不要なら取り壊す) |
|-------|------------------------------|

空家

| | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| 町民、町外の人からクラウドファンディングを募る(空き家のリフォームに) | 制度の充実 実: 空き家バンク・住宅ローン減税・固定資産税 |
|-------------------------------------|----------------------------------|

決められたことに従うのではなく主体制を持って考える

魅力を増やす(給料を多くしたり)

特色を生かした施設を増やす

産業

| | | | |
|--------------|-----------------|---|-------------------|
| 効率化 生産性向上 | 映画 ロケ地 誘致 | コストばかりでなく、古き良き産業や農法、クオリティに目を向け、消費者の意識を変える | 本気で 継承を 考える |
|--------------|-----------------|---|-------------------|

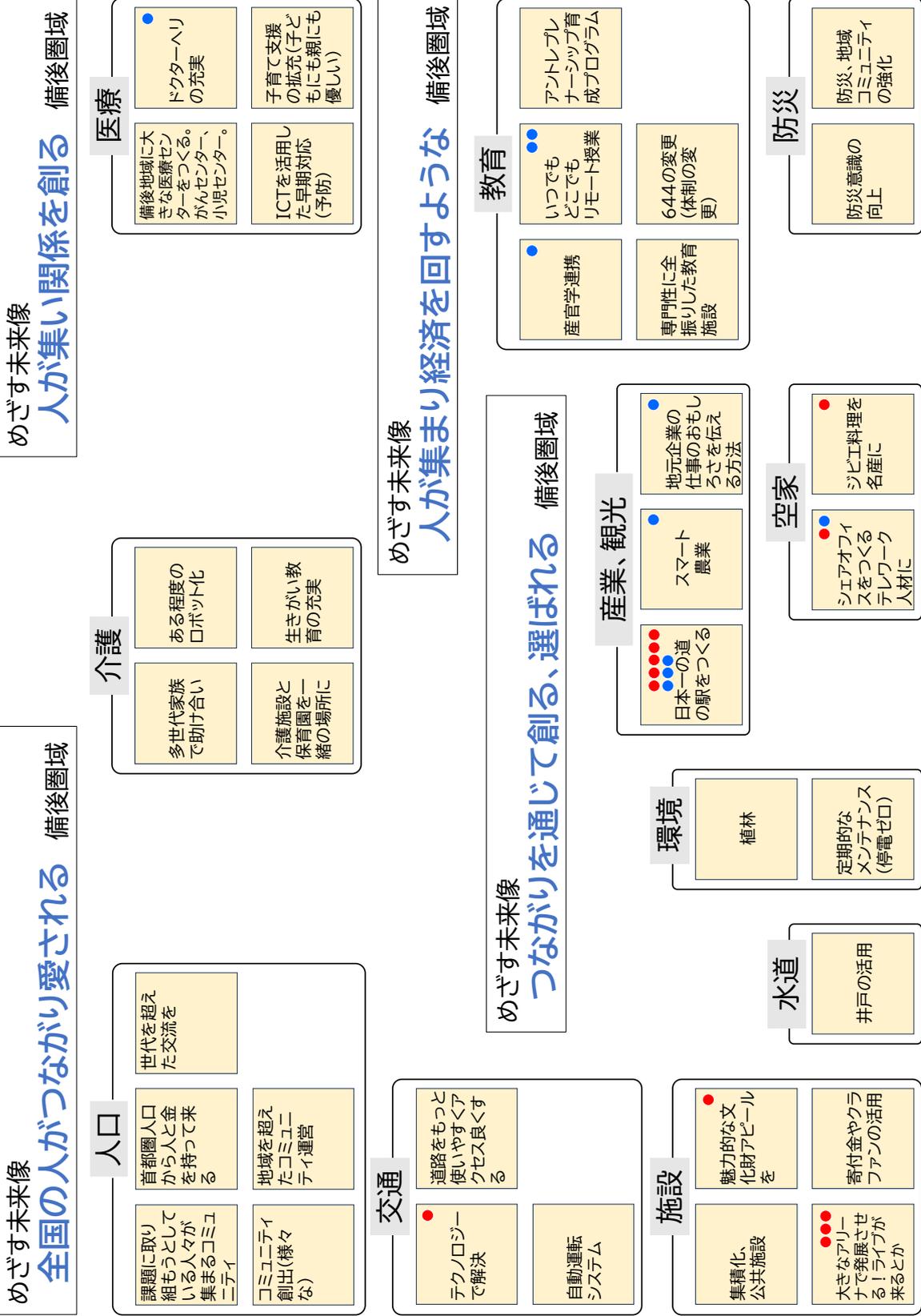
介護

| | | |
|-------------------------------------|--------|------------------|
| 他国に比べサービスに依存している。家族内でできることを増やす努力も必要 | 給料を増やす | 介護は 社会が 守る |
| 介護用のロボットを導入する | | |

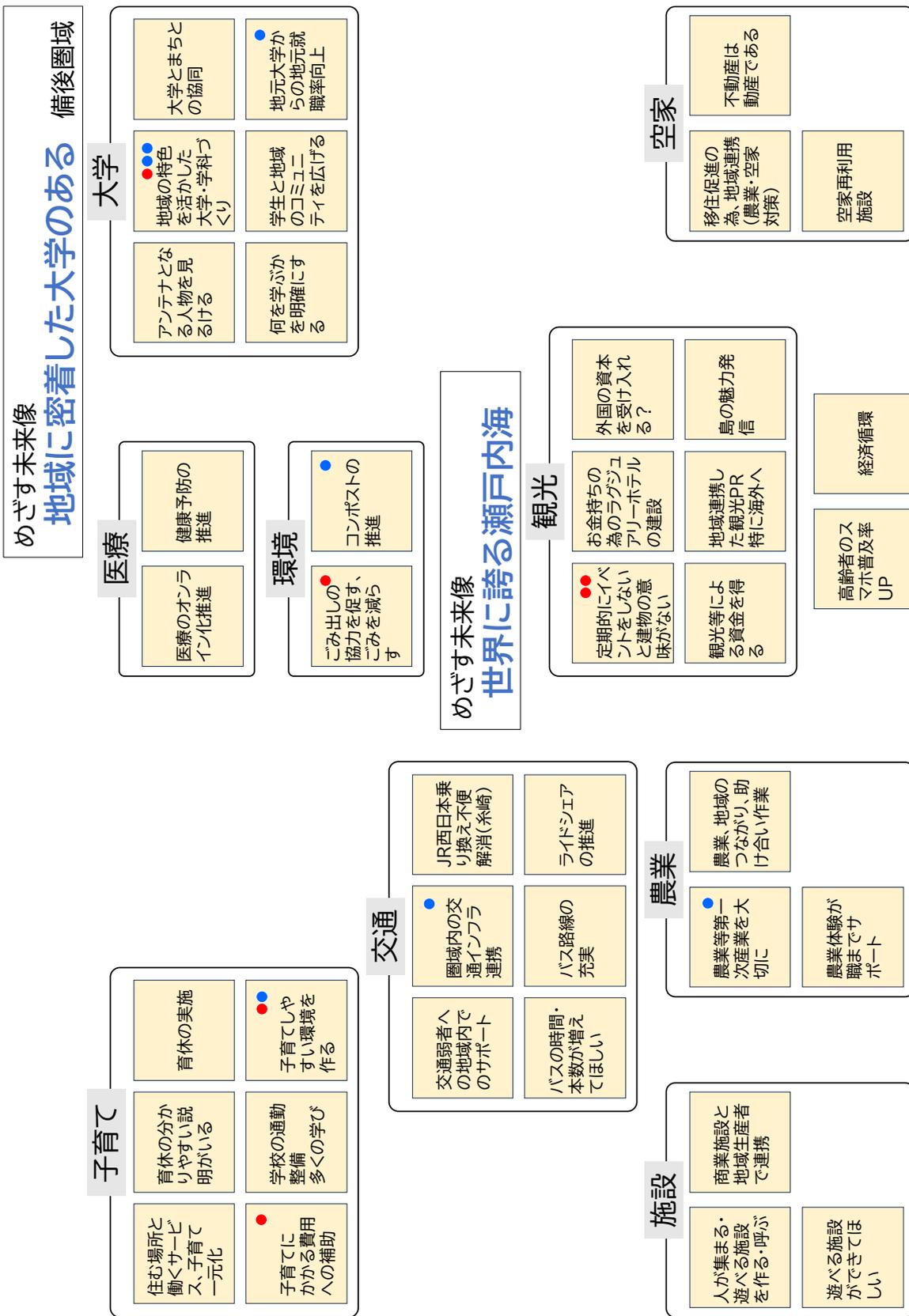
災害インフラ

| | | |
|------|---------------------|--------------|
| パイパス | とにかくまとめて整理 それを守る | コンパクト シティ |
|------|---------------------|--------------|

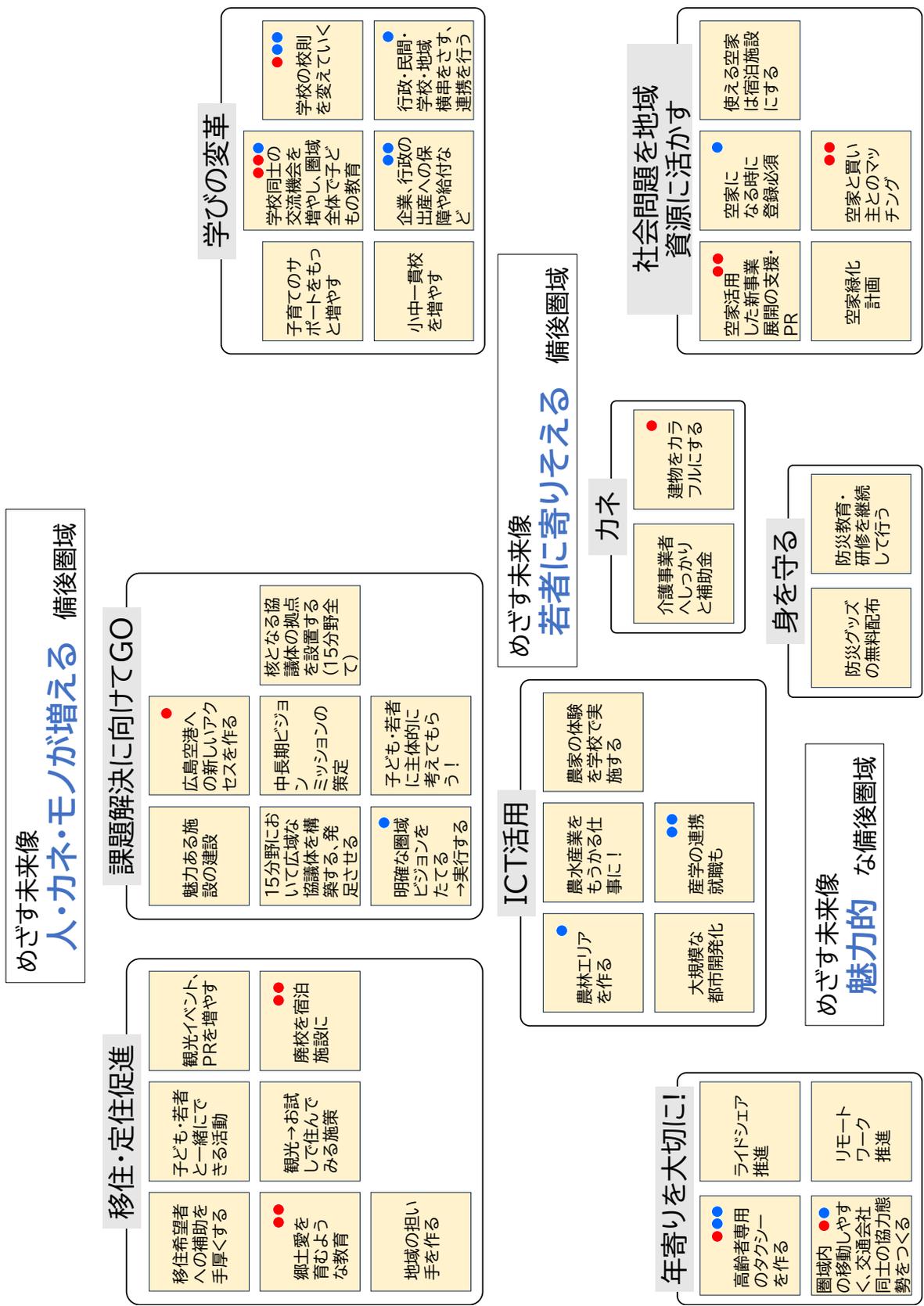
(福山市会場) Hグループ アイデアとめざす未来像



(三原市会場) Cグループ アイデアとめざす未来像

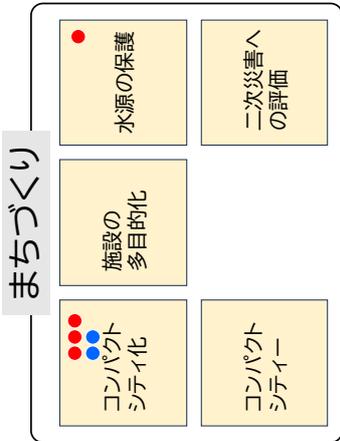


(三原市会場) Dグループ アイデアとめざす未来像

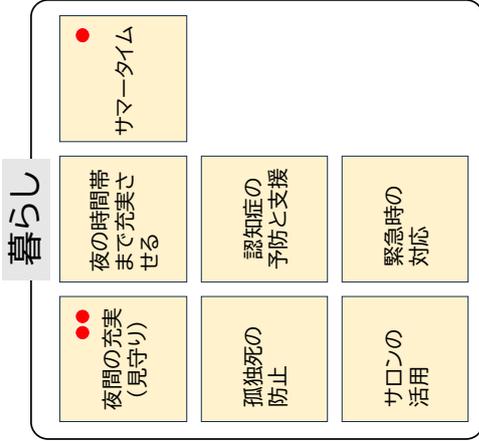
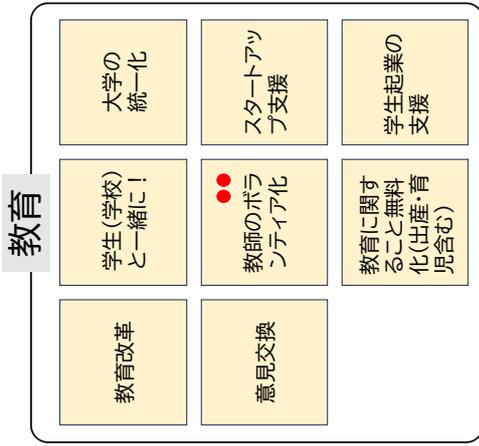


(三原市会場) Eグループ アイデアとめざす未来像

めざす未来像
魅力がギョット詰まった
未来都市圏 備後圏域

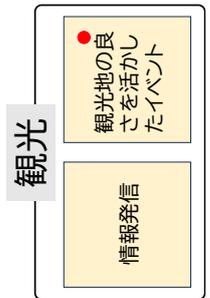
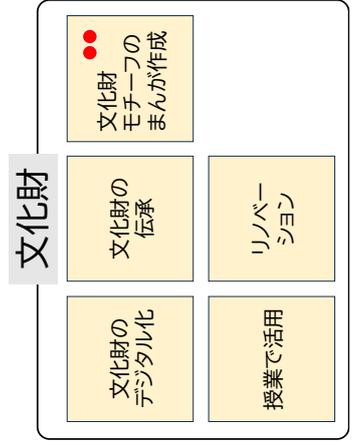
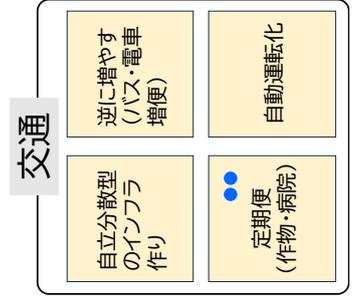
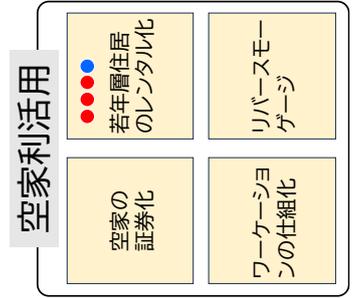


めざす未来像
みんなで教える
備後圏域

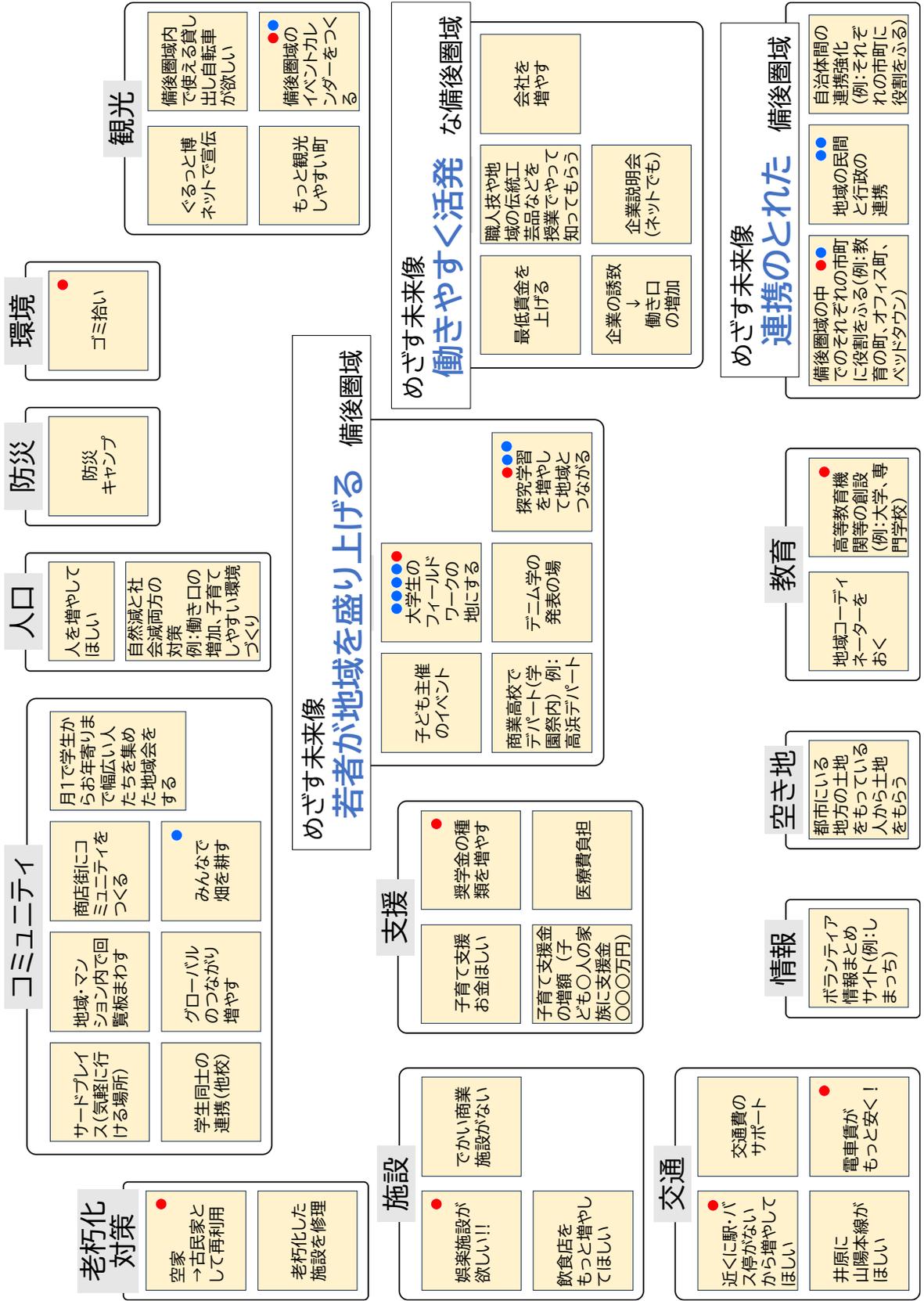


めざす未来像
若夫婦が一戸建てで暮らせる
備後圏域

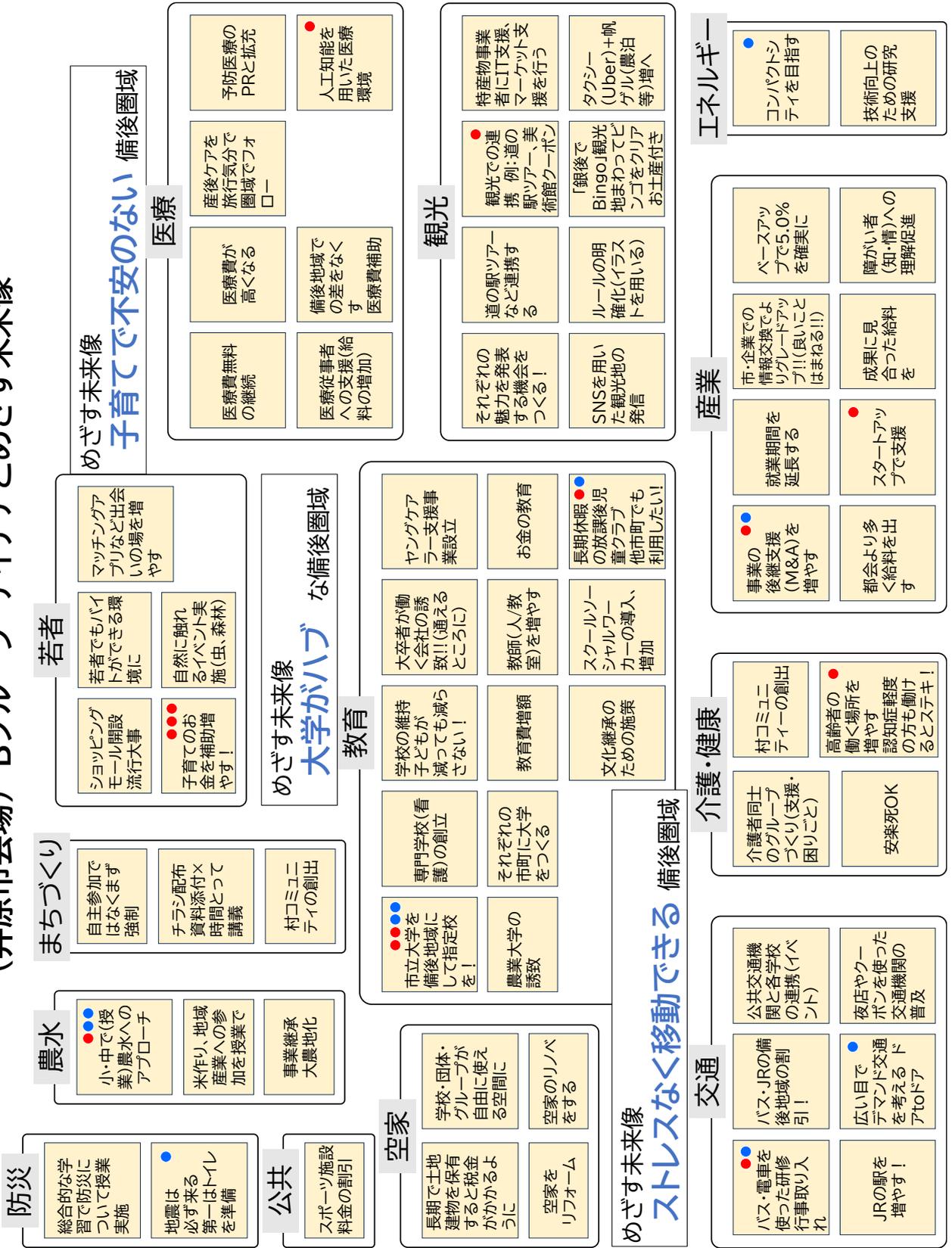
めざす未来像
朝・昼・晩ずーっと一緒!!
な備後圏域



(井原市会場) Aグループ アイデアとめざす未来像



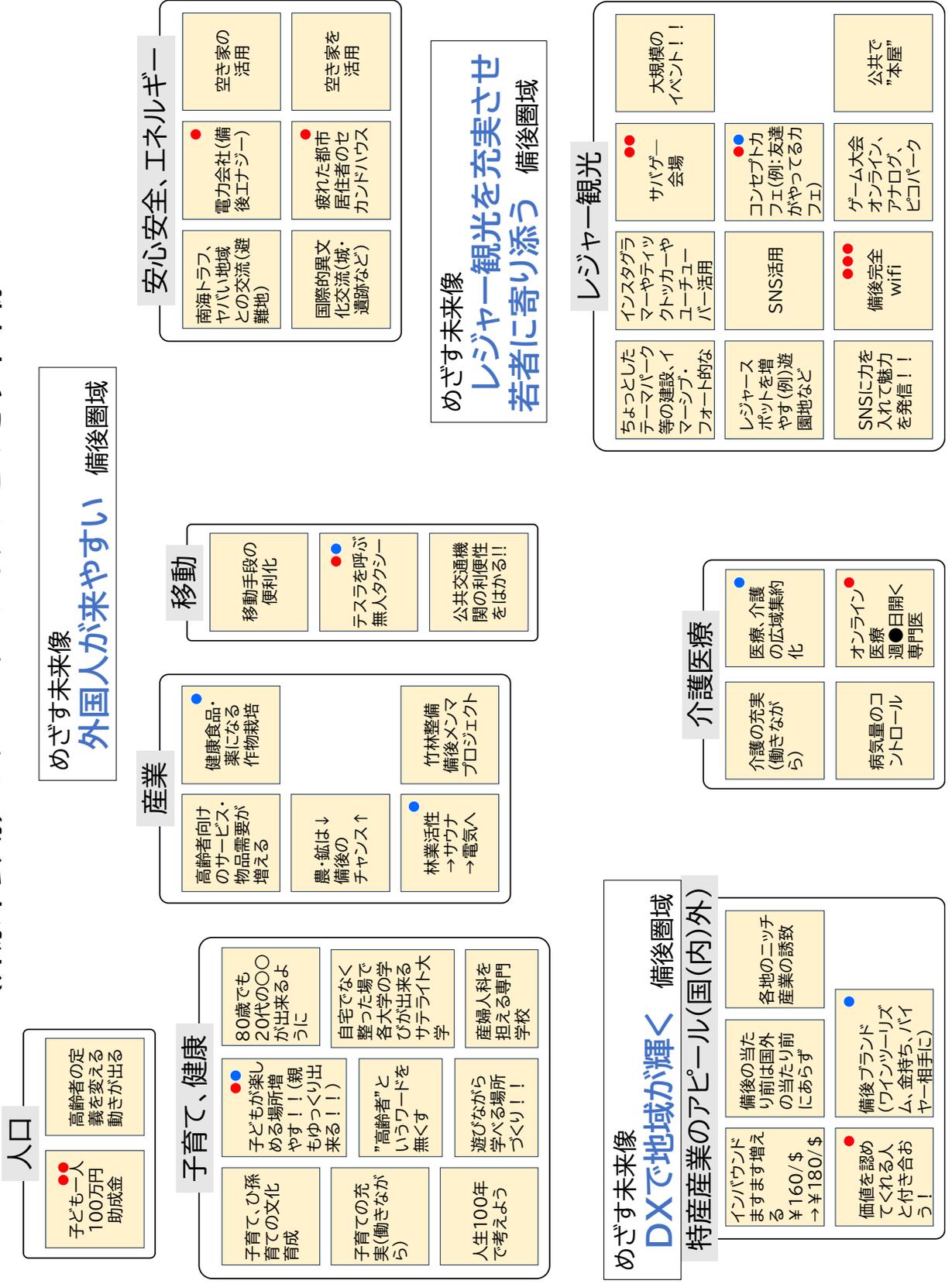
(井原市会場) Bグループ アイデアとめざす未来像



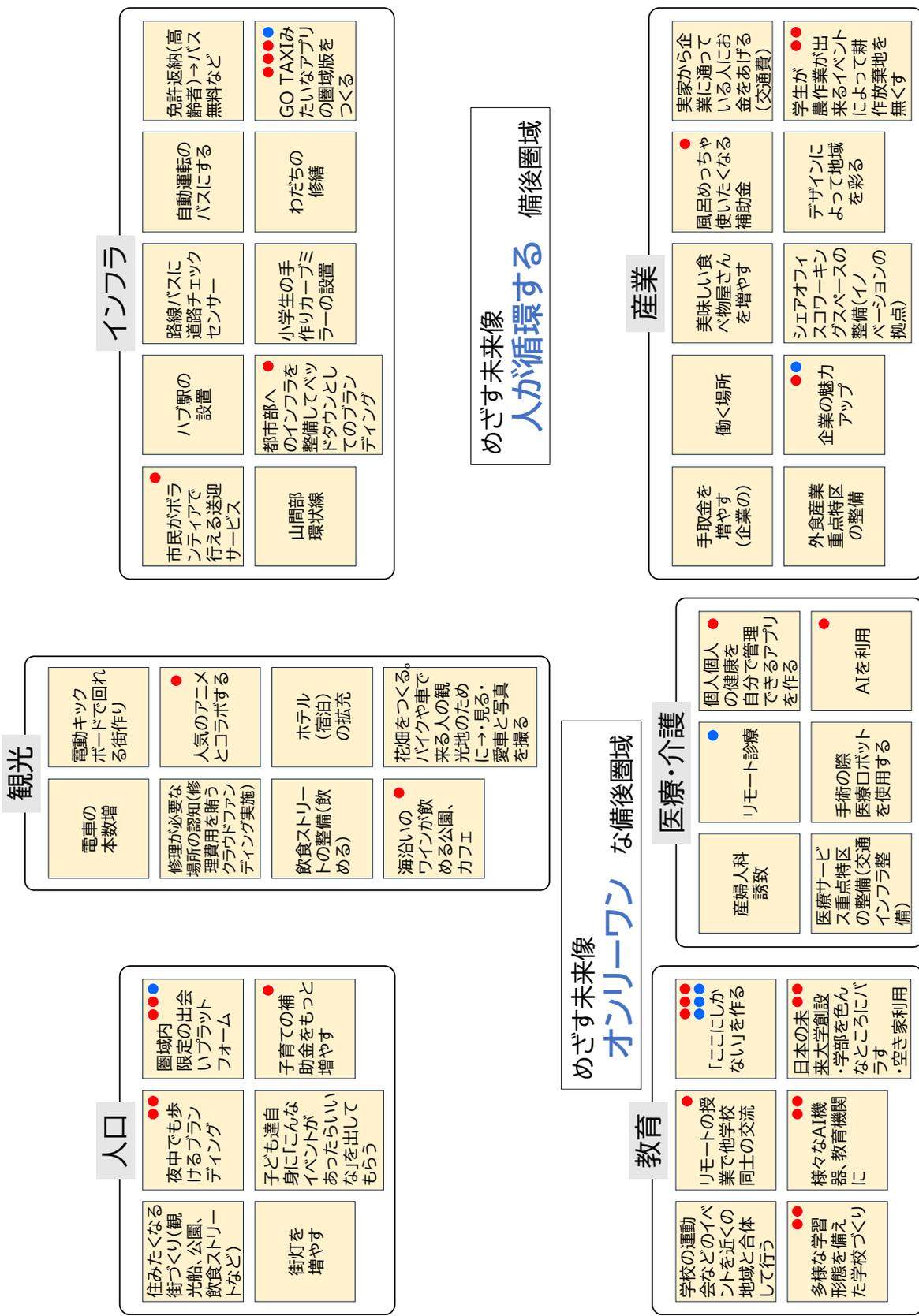
(井原市会場) Cグループ アイデアとめざす未来像



(井原市会場) Dグループ アイデアとめざす未来像



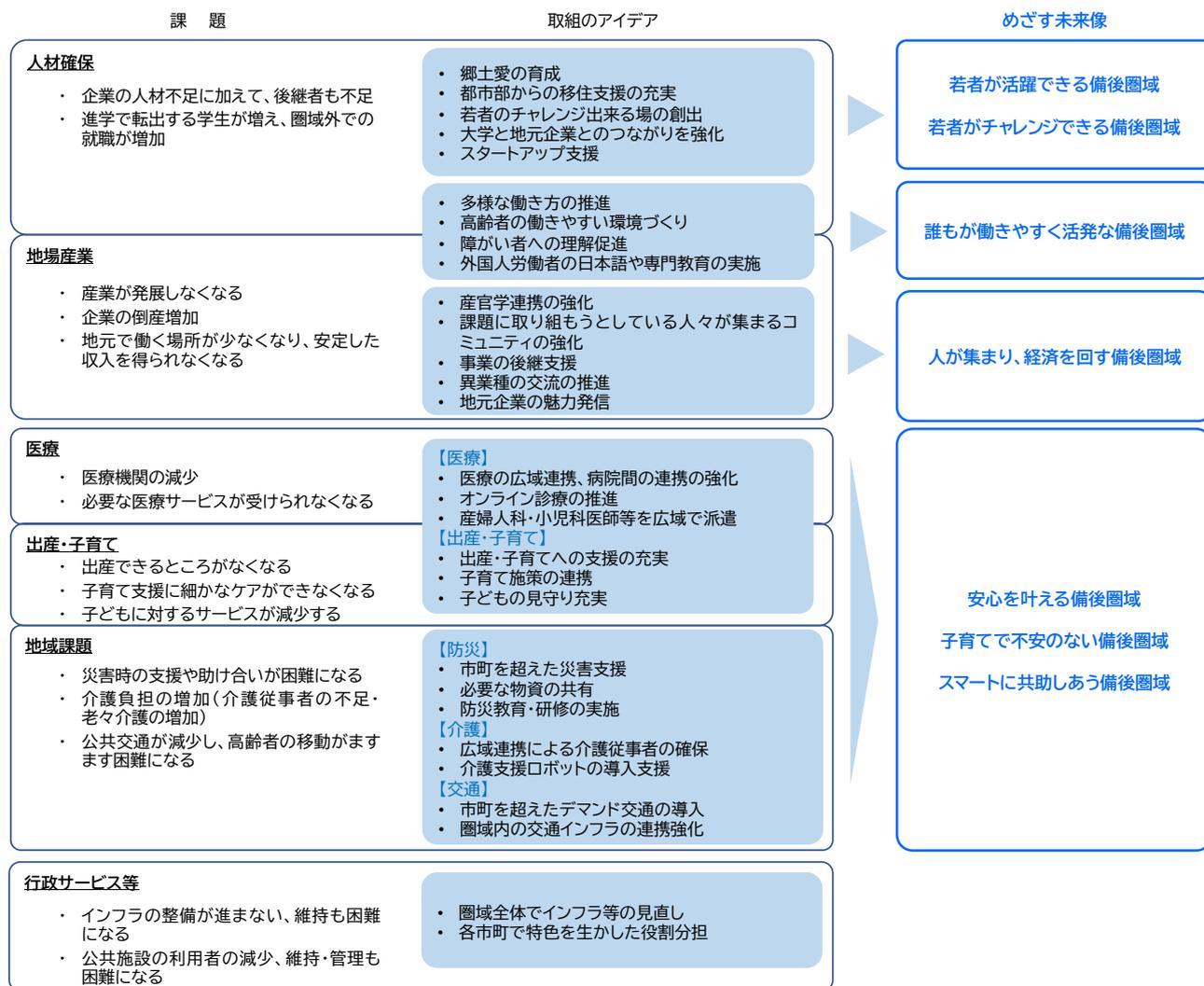
（井原市会場）Eグループ アイデアとめざす未来像



2.3 まとめ

びんご未来ワークショップには計 92 人の住民が参加し、将来予測される課題や解決策のアイデア、めざす未来像を地域の未来予測を活用しながら議論することができました。ワークショップを通して得られた意見やアイデアは、「第3期びんご圏域ビジョン」の策定や連携事業の構築に活用していきます。

図表 2-3 びんご未来ワークショップのまとめ



第3章 参加者アンケートの結果

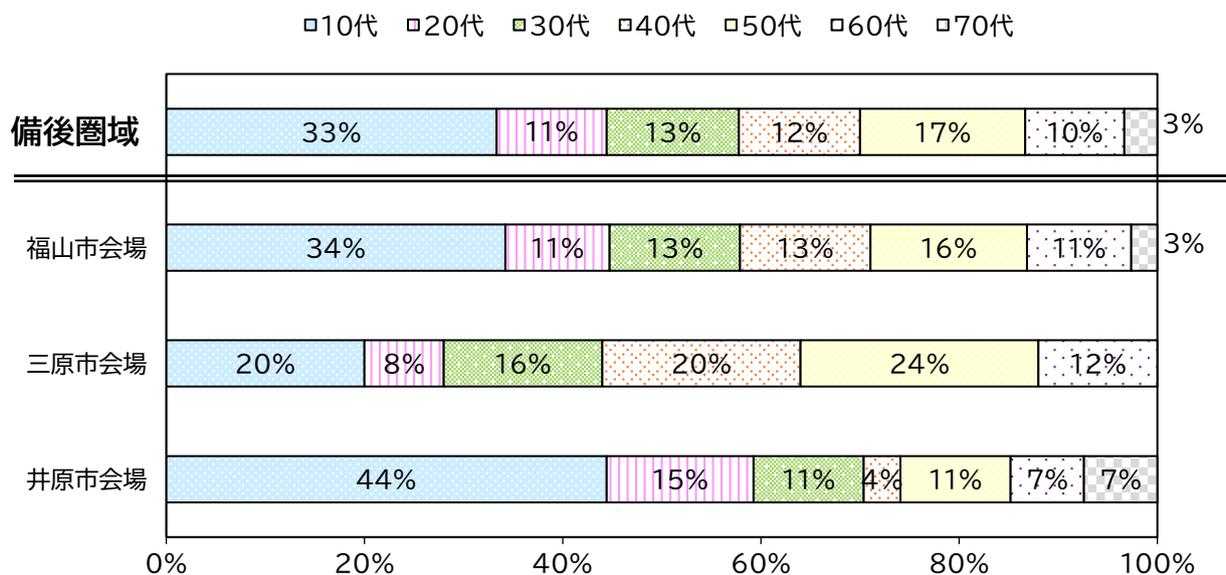
アンケートの結果は以下のとおりです。

3.1 回答者属性

(1) 年齢階層別

図表 3-1 回答者属性（年齢階層）

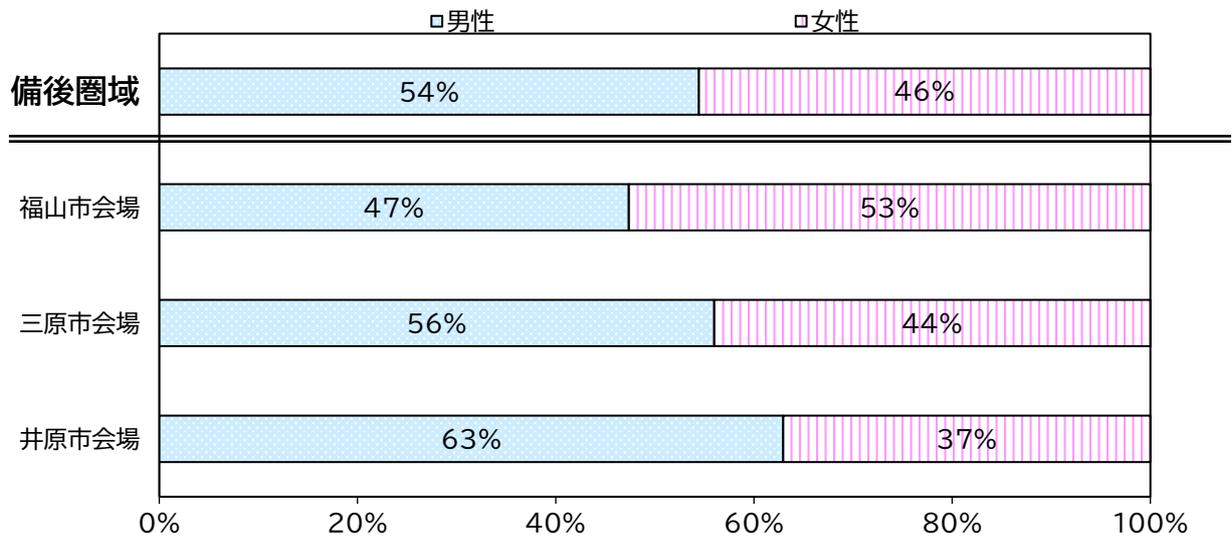
| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|-----|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 |
| | | | | | | | | |
| 10代 | 30 | 13 | 5 | 12 | 33% | 34% | 20% | 44% |
| 20代 | 10 | 4 | 2 | 4 | 11% | 11% | 8% | 15% |
| 30代 | 12 | 5 | 4 | 3 | 13% | 13% | 16% | 11% |
| 40代 | 11 | 5 | 5 | 1 | 12% | 13% | 20% | 4% |
| 50代 | 15 | 6 | 6 | 3 | 17% | 16% | 24% | 11% |
| 60代 | 9 | 4 | 3 | 2 | 10% | 11% | 12% | 7% |
| 70代 | 3 | 1 | 0 | 2 | 3% | 3% | 0% | 7% |
| 総数 | 90 | 38 | 25 | 27 | 100% | 100% | 100% | 100% |



(2) 男女別

図表 3-2 回答者属性 (性別)

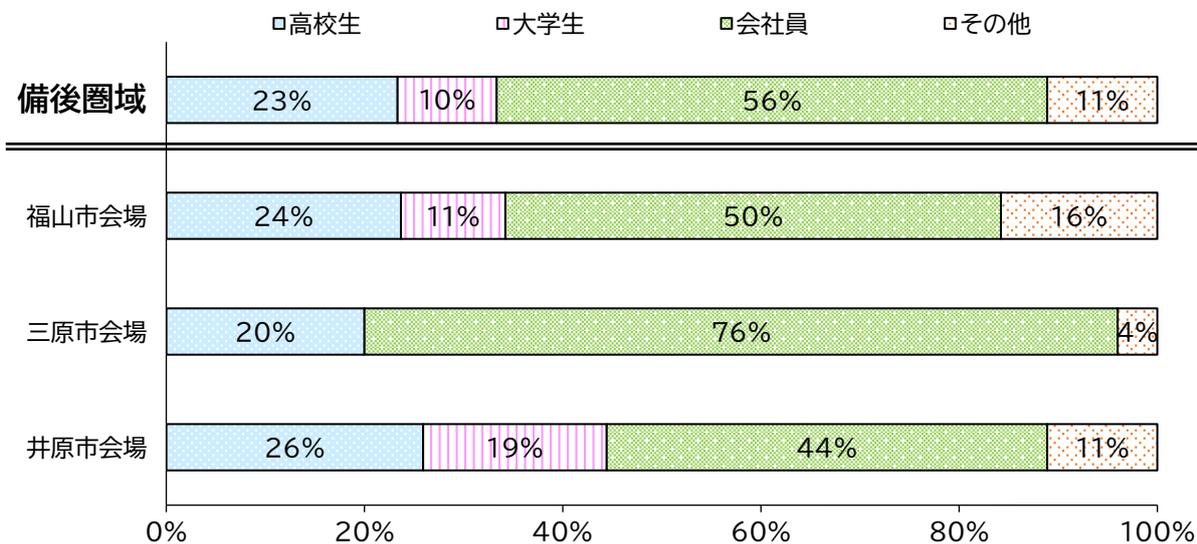
| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|----|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| | 備後 圏域 | 福山市 会場 | 三原市 会場 | 井原市 会場 | 備後 圏域 | 福山市 会場 | 三原市 会場 | 井原市 会場 |
| 男性 | 49 | 18 | 14 | 17 | 54% | 47% | 56% | 63% |
| 女性 | 41 | 20 | 11 | 10 | 46% | 53% | 44% | 37% |
| 総数 | 90 | 38 | 25 | 27 | 100% | 100% | 100% | 100% |



(3) 職種別

図表 3-3 回答者属性（職業）

| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|-----|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 |
| 高校生 | 21 | 9 | 5 | 7 | 23% | 24% | 20% | 26% |
| 大学生 | 9 | 4 | 0 | 5 | 10% | 11% | 0% | 19% |
| 会社員 | 50 | 19 | 19 | 12 | 56% | 50% | 76% | 44% |
| その他 | 10 | 6 | 1 | 3 | 11% | 16% | 4% | 11% |
| 総数 | 90 | 38 | 25 | 27 | 100% | 100% | 100% | 100% |

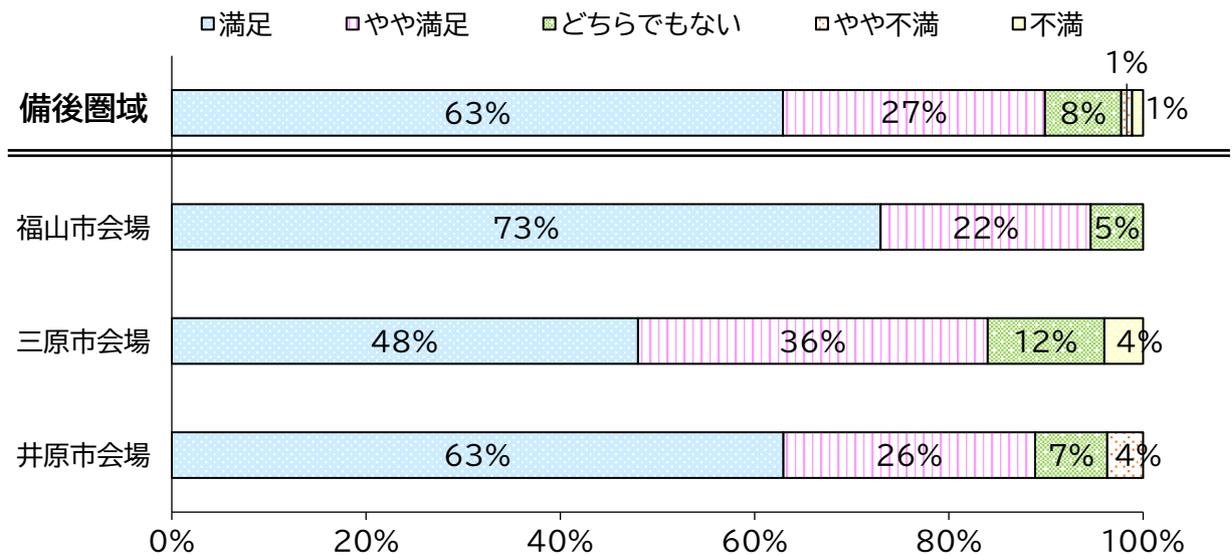


3.2 回答結果

(1) 本日のワークショップの満足度はどのくらいですか？

図表 3-4 ワークショップの満足度

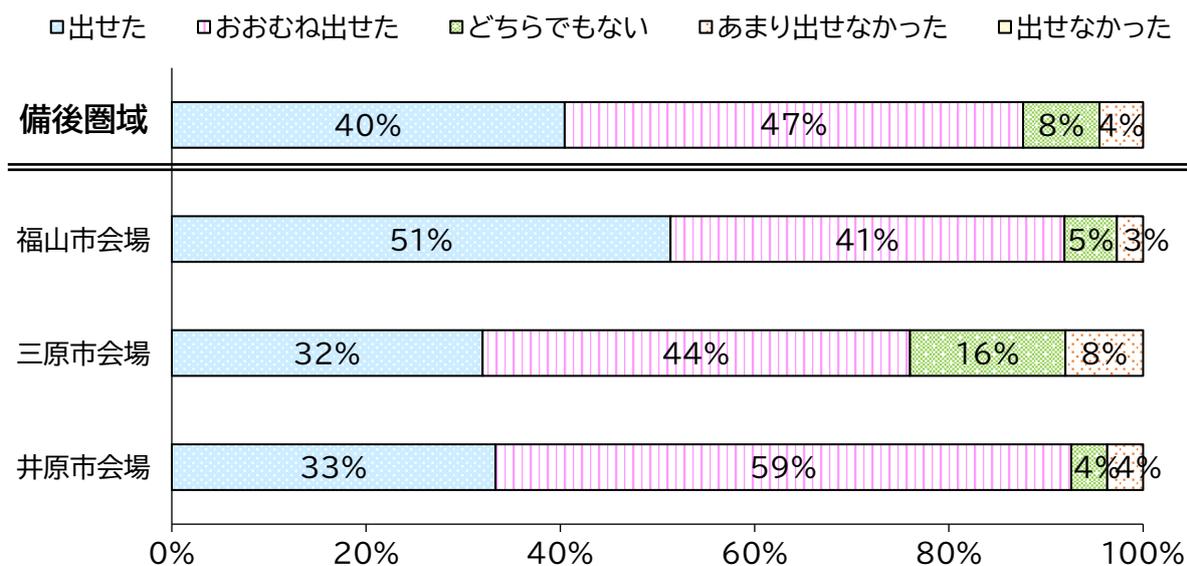
| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|------------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| | 備後 圏域 | 福山市 会場 | 三原市 会場 | 井原市 会場 | 備後 圏域 | 福山市 会場 | 三原市 会場 | 井原市 会場 |
| 満足 | 56 | 27 | 12 | 17 | 63% | 73% | 48% | 63% |
| やや満足 | 24 | 8 | 9 | 7 | 27% | 22% | 36% | 26% |
| どちらでもない | 7 | 2 | 3 | 2 | 8% | 5% | 12% | 7% |
| やや不満 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1% | 0% | 0% | 4% |
| 不満 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1% | 0% | 4% | 0% |
| 回答無し | 1 | 1 | 0 | 0 | - | - | - | - |
| 総数（回答無し除く） | 89 | 37 | 25 | 27 | 100% | 100% | 100% | 100% |



(2) 本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分にだせましたか？

図表 3-5 ワークショップでの発言度

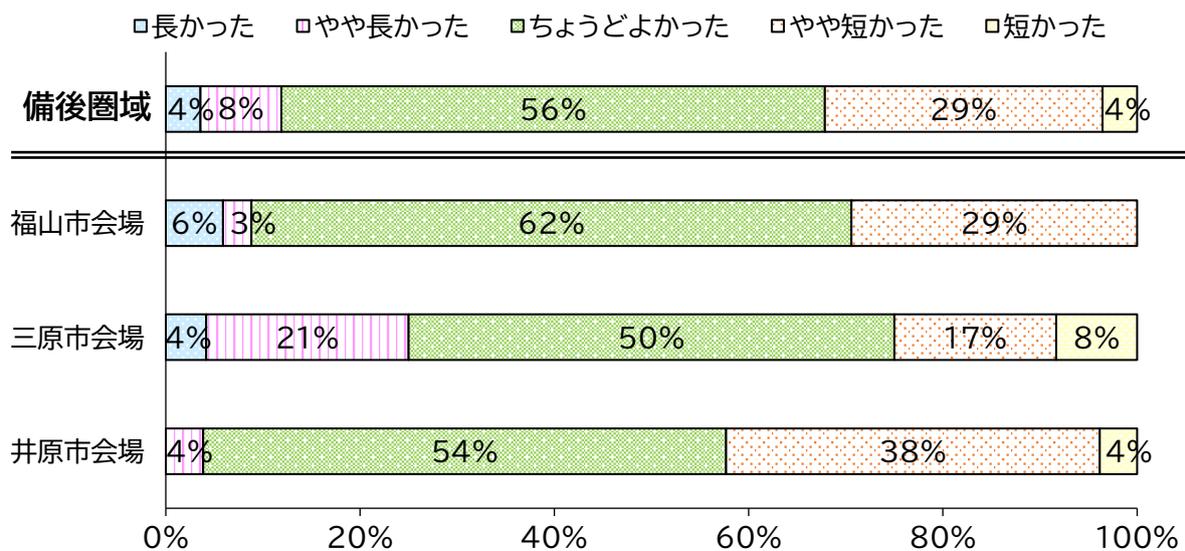
| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|------------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 |
| 出せた | 36 | 19 | 8 | 9 | 40% | 51% | 32% | 33% |
| おおむね出せた | 42 | 15 | 11 | 16 | 47% | 41% | 44% | 59% |
| どちらでもない | 7 | 2 | 4 | 1 | 8% | 5% | 16% | 4% |
| あまり出せなかった | 4 | 1 | 2 | 1 | 4% | 3% | 8% | 4% |
| 出せなかった | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 回答無し | 1 | 1 | 0 | 0 | - | - | - | - |
| 総数（回答無し除く） | 89 | 37 | 25 | 27 | 100% | 100% | 100% | 100% |



(3) 本日のワークショップでの話し合いの時間（長さ）は、いかがでしたか？

図表 3-6 ワークショップの長さ

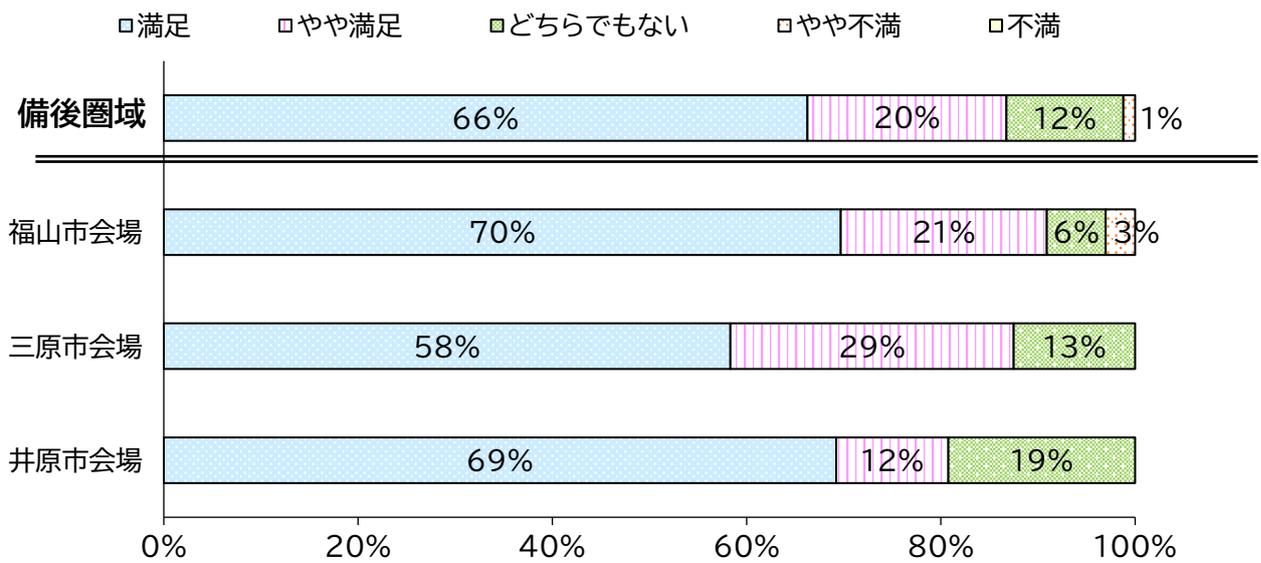
| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|------------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 |
| 長かった | 3 | 2 | 1 | 0 | 4% | 6% | 4% | 0% |
| やや長かった | 7 | 1 | 5 | 1 | 8% | 3% | 21% | 4% |
| ちょうどよかった | 47 | 21 | 12 | 14 | 56% | 62% | 50% | 54% |
| やや短かった | 24 | 10 | 4 | 10 | 29% | 29% | 17% | 38% |
| 短かった | 3 | 0 | 2 | 1 | 4% | 0% | 8% | 4% |
| 回答無し | 6 | 4 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| 総数（回答無し除く） | 84 | 34 | 24 | 26 | 100% | 100% | 100% | 100% |



(4) 本日のワークショップのテーブルファシリテーターの進行・サポートに対する満足度

図表 3-7 ワークショップの進行・サポート

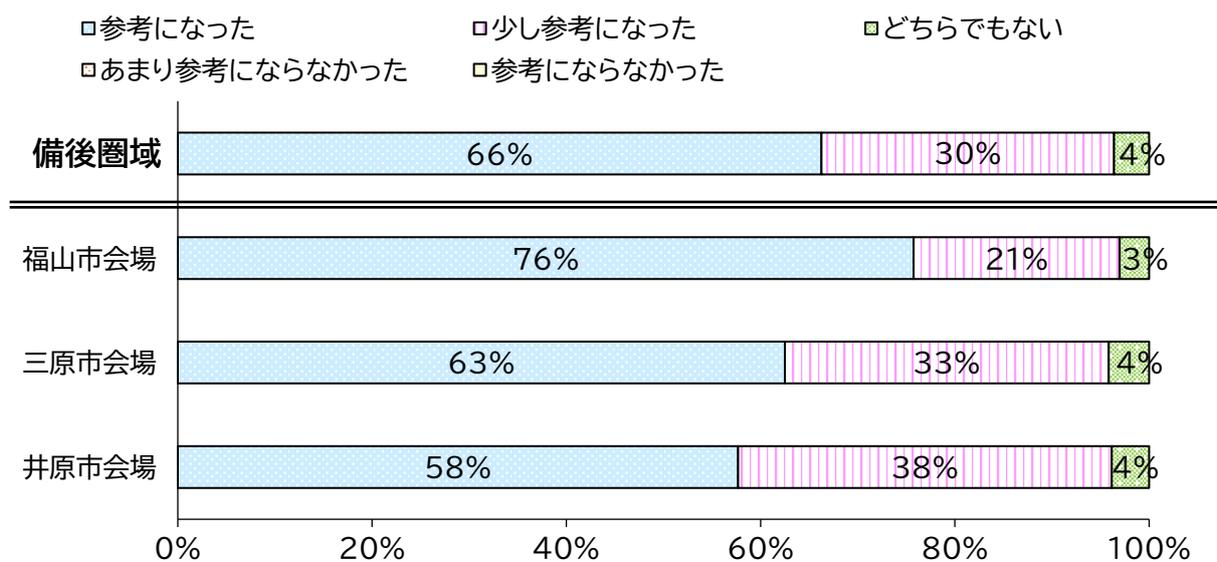
| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|------------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 |
| 満足 | 55 | 23 | 14 | 18 | 66% | 70% | 58% | 69% |
| やや満足 | 17 | 7 | 7 | 3 | 20% | 21% | 29% | 12% |
| どちらでもない | 10 | 2 | 3 | 5 | 12% | 6% | 13% | 19% |
| やや不満 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1% | 3% | 0% | 0% |
| 不満 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 回答無し | 7 | 5 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| 総数（回答無し除く） | 83 | 33 | 24 | 26 | 100% | 100% | 100% | 100% |



(5) 「地域の未来予測」などのデータは、ワークショップで議論の参考になりましたか？

図表 3-8 地域の未来予測について

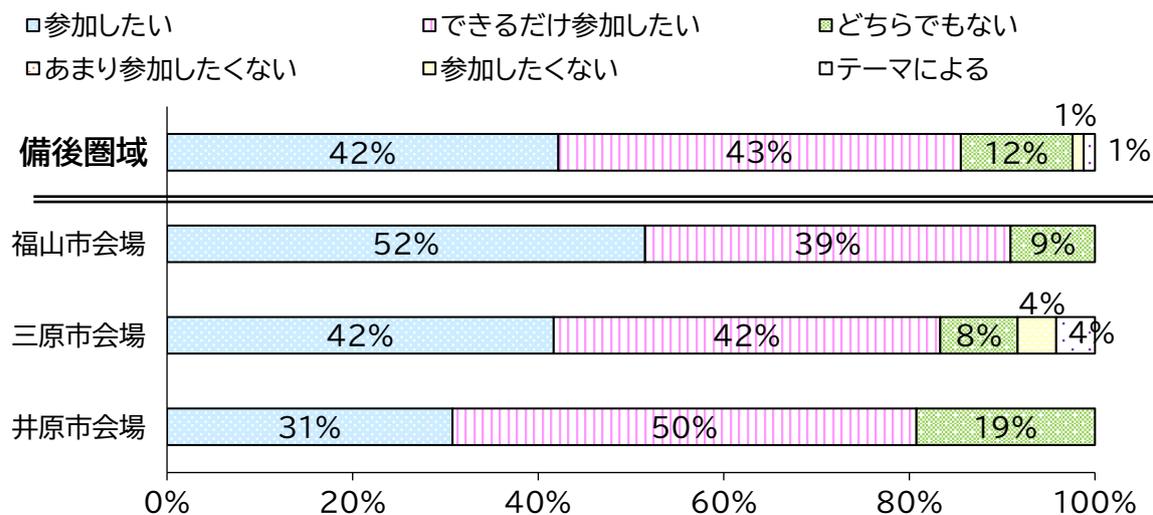
| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|--------------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 |
| 参考になった | 55 | 25 | 15 | 15 | 66% | 76% | 63% | 58% |
| 少し参考になった | 25 | 7 | 8 | 10 | 30% | 21% | 33% | 38% |
| どちらでもない | 3 | 1 | 1 | 1 | 4% | 3% | 4% | 4% |
| あまり参考にならなかった | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 参考にならなかった | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 回答無し | 7 | 5 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| 総数（回答無し除く） | 83 | 33 | 24 | 26 | 100% | 100% | 100% | 100% |



(6) 今後、このようなワークショップの機会がありましたら、参加したいと思いますか？

図表 3-9 今後のワークショップ等への参加について

| | 回答数 | | | | 割合 | | | |
|------------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 | 備後圏域 | 福山市会場 | 三原市会場 | 井原市会場 |
| 参加したい | 35 | 17 | 10 | 8 | 42% | 52% | 42% | 31% |
| できるだけ参加したい | 36 | 13 | 10 | 13 | 43% | 39% | 42% | 50% |
| どちらでもない | 10 | 3 | 2 | 5 | 12% | 9% | 8% | 19% |
| あまり参加したくない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% | 0% | 0% | 0% |
| 参加したくない | 1 | 0 | 1 | 0 | 1% | 0% | 4% | 0% |
| テーマによる | 1 | 0 | 1 | 0 | 1% | 0% | 4% | 0% |
| 回答無し | 7 | 5 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| 総数（回答無し除く） | 83 | 33 | 24 | 26 | 100% | 100% | 100% | 100% |



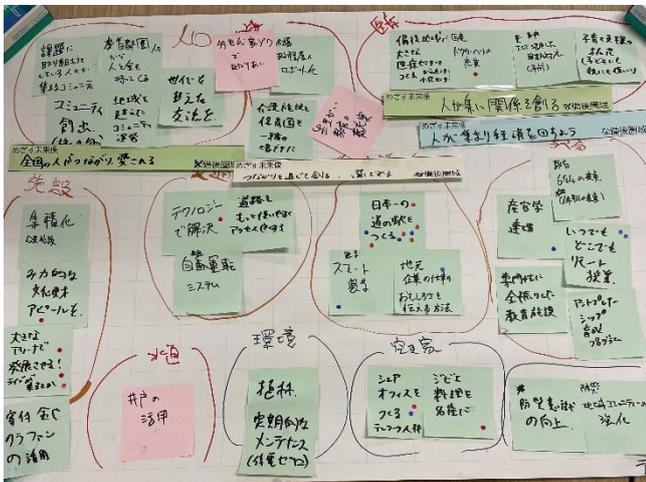
(7) 本日のワークショップの中で、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください。

図表 3-10 ワークショップに対する意見・気づき（主なもの）

| |
|---|
| 良い経験になりました。ありがとうございました。 |
| 4時間でもよかったかもしれません。 |
| 大人の人と話しをすることができてよかったです。 |
| とても良い時間を過ごせました。もっと大勢の人が参加して意見が出しあえればもっと良いと思います。ありがとうございました！！ |
| 表面的な意見しか出ませんでしたので、もっと皆さんとその意見の奥にある思いや考えをたくさん熟議できたら楽しいと思いました。 |
| 自分の町の未来について考えたことはなかったけど、今日色々考えることができたので貴重な体験ができた。 |
| 年齢別で出る案が違っておもしろかった。学生からは出ないような考えを大人の方から聞けてすごく刺激的だった。 |
| 自分たちの未来を深く考えることで備後について興味をもてた。 |
| 自分や自分たちのグループでは出てこないような意見があり、多くの人の意見をきくことで世界が広がっていくことを実感できた。 |
| 中学校で同級生と何かについて話しあうことはありましたが、大人の人と話すことはなくてとてもいい経験になりました。地域のためにも貢献できてよかったです。 |
| 幅広い世代で意見交換が出来た点は良かった。これを継続していくことが大切と感じました。 |
| 一人で付箋を各時間が長くお互いの考えについて話をする時間が少なかった |
| 今まで自分（学生）が見えていなかった視点について、社会の方々からの話も一緒に聞くことができて、もっと知識をつけたいと思いました。 |
| 1日では短いです。 |
| 過疎地域に特化した議論を希望。 |
| 色々な地域・世代の人とお話できて楽しい時間をすごせました。 |
| 視点のちがう人とのグループワークだったので多数の意見を知ることができました。 |
| アイデア出しの時間がしっかりとあって、備後圏域の今後を改めて考える機会となりました。ありがとうございました。 |
| 自分では思いつかなかったいいアイデアがあってとても充実しました。 |
| 大人は考えが固い。若者と一緒にできてよかった。 |
| 私が住んでいる、生活をしている地域以外の人意見を聞くことができ興味深かったです。話し合いは否定がないのでリラックスして意見を出すことができました。 |
| いままで探究活動などをするときには市内だけだったりしたので、備後地域など他の市と協力することでできることが増えるのでいいと思った。 |
| テーマが幅広すぎてなかなか1つの意見を深めていくのが難しかったと感じた。グループが複数あるので「このグループは特にここを重点に考えていく」と役割をふってもいいのではと思った。 |
| 本気度が高い人ばかりの議論でたくさん意見が出てよかったです。 |
| 若者が町を活性化しないと廃れていく一方だと感じた。 |
| 若者の意見と大人の意見が合わさることでより深く具体的なアイデアに昇華していくのがよかった。 |

第4章 当日の様子

● 福山市会場



● 三原市会場



● 井原市会場



びんご未来ワークショップ報告書

2024年（令和6年）10月